

2019 年度

授業科目の解説 (2 年用)

看護学科

島根大学医学部

2019年度 医学部看護学科 学年暦

[illegible]

2019年度 授業時間割表（看護学科2年）

前 期					
	1・2 8:30～10:10	3・4 10:25～12:05	5・6 13:00～14:40	7・8 14:55～16:35	9・10 16:50～18:30
月	地域看護学概論 (小笹他) N11	看護理論 (福岡他) N12		疾病論Ⅰ (福田他) N11	
火		疾病論Ⅱ (福田他) N11	看護英語Ⅰ(A) (岩田)eステーション		
				看護英語Ⅰ(B) (岩田)eステーション	
水			日常生活援助技術演習 (福岡他) N12・第3実習室		
木			薬理と薬剤 (橋本り他) N11		疾病論Ⅲ (福田他) N11
金			看護過程論演習 (宮本他) N21・第3実習室		病理学の基礎 (橋本り他) N21

後 期					
	1・2 8:30～10:10	3・4 10:25～12:05	5・6 13:00～14:40	7・8 14:55～16:35	9・10 16:50～18:30
月		保健福祉行政論 (小笹他) N21	成人看護学概論 (若崎他) N21	養護概論 (土江) N21	
火		老年看護学概論 (原) N11	地域看護学活動論 (榊原) N21・第4実習室		
水		看護英語Ⅱ(A) (Murphy)L2	小児看護学概論 (秋鹿)		
	看護英語Ⅱ(B) (Murphy)L2		N11		
木		精神看護学概論 (瀧尻) N11	疫学・衛生統計 (神田) N11	母性看護学概論 (橋本み) N11	【教職科目】 教育の方法と技術 (権藤) N11・L3遠隔
金		助産学概論 (橋本み) N12	診療時援助技術演習 (宮本他) N12・第3実習室		

2～3月:基礎看護学実習Ⅱ(津本他)

※ 一部日程を変更して授業を行うことがあります。各科目の授業日程表で確認してください。

※ 時間・場所の変更などがある場合は、看護学科棟2階の掲示板への掲示、代議員を通じての連絡、メール配信等により通知します。

区 分		授 業 科 目 名	単 位 数	履修年次		必 選 修 択 又 は 別	授業担当教員	
				2 年次				
				前期	後期			
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	看護英語Ⅰ pp5～6	1	1		必修	教 授 岩田 淳	
		看護英語Ⅱ pp7～8	1		1	必修	助 教 Lynne Murphy	
		病理学の基礎 pp9～10	2	2		必修	教 授 橋本 龍樹 他	
		保健福祉行政論 pp11～12	2		2	必修	教 授 小笹 美子 他	
		薬理と薬剤 pp13～14	2	2		必修	教授 橋本 龍樹, 教授 福田 誠司 他	
		疾病論Ⅰ pp15～16	2	2		必修	教 授 福田 誠司 他	
		疾病論Ⅱ pp17～18	2	2		必修	教 授 福田 誠司 他	
		疾病論Ⅲ pp19～20	2	2		必修	教 授 福田 誠司 他	
		疫学・衛生統計 pp21～22	2		2	必修	教 授 神田 秀幸 他	
		障害福祉論	2	2		選択	2019 年度は不開講	
		上級 TOEIC セミナーⅠ p23	0.5			自由	教 授 岩田 淳	
		上級 TOEIC セミナーⅡ p24	0.5			自由	教 授 岩田 淳	
		グローバルリテラシーセミナーⅠ p25～26	0.5			自由	嘱託講師 川上 サマンサ	
		グローバルリテラシーセミナーⅡ p27～28	0.5			自由	嘱託講師 川上 サマンサ	
		海外留学セミナー p29～30	0.5			自由	講 師 John Telloyan	
		アカデミックイングリッシュA p31～32	0.5			自由	講 師 John Telloyan	
		アカデミックイングリッシュB p33～34	0.5			自由	助 教 Lynne Murphy	
		臨床英語 p35	0.5			自由	教 授 福田 誠司	
		海外研修A p36	1			自由	教 授 岩田 淳	
		海外研修B p37	1			自由	募集時に決定	
		海外研修C p38	1			自由	審査後決定	
	専 門 科 目	看護理論 pp39～40	2	2		必修	准教授 福岡 美紀, 講師 宮本まゆみ 他	
		看護過程論演習 pp41～42	1	1		必修	講 師 宮本まゆみ 他	
		日常生活援助技術演習 pp43～45	2	2		必修	准教授 福岡 美紀, 講師 宮本まゆみ 他	
		診療時援助技術演習 pp46～47	1		1	必修	講 師 宮本まゆみ 他	
		成人看護学概論 pp48～49	2		2	必修	教 授 若崎 淳子	
		老年看護学概論 pp50～51	2		2	必修	教 授 原 祥子	
		小児看護学概論 pp52～53	2		2	必修	准教授 秋鹿 都子	
		母性看護学概論 pp54～55	2		2	必修	准教授 橋本 美幸	
		精神看護学概論 pp56～57	2		2	必修	講 師 瀧尻 明子	
		地域看護学概論 pp58～59	2	2		必修	教 授 小笹 美子	
		地域看護学活動論 pp60～61	2		2	必修	講 師 榊原 文	
		基礎看護学実習Ⅱ p62	2		2	必修	教 授 津本 優子 他	
		助産科目	助産学概論＊ pp63～64	2		2	選択	准教授 橋本 美幸
		養護科目	養護概論 pp65～66	2		2	選択	講 師 土江 梨奈
教職に関する 科目		教育課程論	2	2		選択	嘱託講師 森 久佳	
		道徳及び特別活動論	2		2	選択	嘱託講師 西田 忠男	
		教育の方法と技術 pp67～68	2		2	選択	教育学部 教授 権藤 誠剛	
		生徒指導論	2	2		選択	嘱託講師 新見 直子	

◆養護教諭一種免許状取得のための教職に関する科目の単位の修得方法 (p.69掲載)

◆オフィスアワー (p.70掲載)

*の科目については、他の学生も選択できる

カリキュラム模式図 [医学部看護学科]

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎科目 英語 英語Ⅰ A、英語Ⅱ A 初修外国語 (選択必修) (ドイツ語Ⅰ、フランス語Ⅰ、 中国語Ⅰ、韓国・朝鮮語Ⅰ) 健康・スポーツ スポーツ実習Ⅰ 情報科学 情報科学概論	英語 英語Ⅰ B、英語Ⅱ B 初修外国語 (選択) (ドイツ語Ⅱ、フランス語Ⅱ、 中国語Ⅱ、韓国・朝鮮語Ⅱ) 健康・スポーツ 健康・スポーツ科学概論Ⅰ 情報科学 情報科学演習	専門教育科目 (専門基礎科目) 看護英語Ⅰ 病理学の基礎 薬理と薬剤 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 疾病論Ⅲ 障害福祉論	専門教育科目 (専門科目) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院、保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院他) 精神看護学実習 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	専門教育科目 (専門科目) 成人看護学援助論Ⅰ 成人看護学援助論Ⅱ 老年看護学援助論 小児看護学援助論 母性看護学援助論 精神看護学援助論 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	専門教育科目 (専門科目) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院、保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院他) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	専門教育科目 (専門科目) 地域看護学演習	専門教育科目 (専門基礎科目) 保健社会学	
	教養育成科目 (選択必修)							
	入門科目		診療時援助技術演習 成人看護学概論 老年看護学概論 小児看護学概論 母性看護学概論 精神看護学概論 地域看護学活動論	老年看護学実習Ⅱ (於：介護老人保健施設) 家族看護論 緩和ケア論 クリティカルケア論 看護理論講読 看護教育論	老年看護学実習Ⅱ (於：介護老人保健施設) 在宅看護学実習 (於：訪問看護ステーション) 地域看護学実習Ⅰ 於：保健所 市町保健センター	専門教育科目 (専門基礎科目) 保健社会学		
	人文社会科学分野 自然科学分野 (細胞生物学は必修) 学際分野 発展科目	10 単位	日常生活援助技術演習 地域看護学概論	看護学総合実習Ⅰ (OSOE)	看護学総合実習Ⅱ (於：事業所)			
	人文社会科学分野 自然科学分野 学際分野				地域看護学実習Ⅱ (於：事業所)			
社会人力養成科目 (日本国憲法)								
専門教育科目 (専門基礎科目) 人間心理Ⅰ 生命科学の歴史と倫理 形態と機能Ⅰ 形態と機能Ⅱ 環境保健学 栄養と代謝							看護学総合実習Ⅱ (於：附属学校、既実習施設)	
社会福祉論								
専門教育科目 (専門科目) 看護学原論 援助関係論演習 ヘルスアセスメント技術演習 基礎看護学実習Ⅰ (於：附属病院)		基礎看護学実習Ⅱ (於：附属病院) (於：松江赤十字病院) 助産学概論	助産診断技術Ⅰ 助産診断技術Ⅱ 助産過程論 健康相談論 看護基礎実習事前・事後指導 看護基礎実習	助産学実習 助産学実習	助産学実習			
教職概論 C 教育原論Ⅱ 人格発達心理学概説 教育社会学概説 教育相談の理論と方法		教育課程論 生徒指導論	健康相談論 看護基礎実習事前・事後指導 看護基礎実習	看護展開実習事前・事後指導 看護展開実習	看護展開実習事前・事後指導 看護展開実習		教職実践演習 (看護教諭)	

凡例 ☐ 教養育成科目 ☐ 専門教育科目 (専門基礎科目) ☒ 専門教育科目 (専門科目) ☐ 臨地実習 ☐ 助産科目 ☒ 看護・教職科目 (看護教諭一種免許状)

專 門 教 育 科 目

專 門 基 礎 科 目

授業科目名	看護英語 I		担当教員	教授 岩田 淳		
開講年次及び学期	2 年前期		必修・選択の別	必修		
開講形態	演習		時間数	30	単位数	1
授業概要						
医療・看護分野に関する題材をもとに、リーディング，リスニングを中心とした語学演習を行い，看護師として必要な英語コミュニケーション能力の向上を目指します。授業では，テキスト，プリント，eラーニング教材（Moodle, Kahoot）を利用した演習のほか，対話力向上を目的としたペア，グループ活動を行います。						
G I O（一般目標）						
医療・看護分野における頻出語彙，構文，表現を習得し，リーディング，リスニングを中心とした語学演習により，看護師として必要な英語コミュニケーション能力の基礎力を身に着ける。						
S B O（行動目標）						
(1) 看護や医療に関する英文を読み，内容を正確に理解できる。 (2) 看護や医療に関する英文の読解に頻出する語彙，文法，構文が理解できる。 (3) 看護や医療に関する英文や会話を聞いて，内容を理解できる。 (4) 患者の症状を聞いたり，患者へ指示や説明をするための基本的な英語表現が理解できる。						
成績評価の方法						
・ 期末試験 60% ・ 小テスト（小テスト，課題） 30% ・ 授業への取り組み（授業の準備，発言，出席） 10% 尚，授業に2/3以上の出席がない場合，未修とします。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
1. 教科書 『Life Saver - Basic English in Medical Situations』（National Geographic Learning）¥2,200（税別）ISBN: 978-4-86-312352-6 2. その他の教材 ・ 英和辞書（電子辞書も可） ・ 医学部基本語彙集 ・ プリント教材（授業で配布） ・ イヤフォン（各自で準備すること）						
オフィスアワー						
授業日夕方						

授業計画

回	日付	テーマ	授業内容
1	4/9	ガイダンス, Unit 2 Don't worry.	ガイダンス, 励ましの言葉をかけましょう
2	4/16	Unit 3 How may I help you?	どうなさいましたか
3	4/23	Unit 4 How are you feeling?	気分を聞いてみましょう
4	5/7	Unit 5 Could you fill in this medical questionnaire?	この問診票にご記入いただけますか?
5	5/14	Unit 6 Take the elevator, please.	行き先を案内しましょう
6	5/21	Unit 7 What are your symptoms?	症状を聞きましょう
7	5/28	Unit 8 Where does it hurt?	痛みの場所を聞きましょう
8	6/4	ビデオ鑑賞 (合同, 13:00~15:00)	『Awakenings (レナードの朝)』
9	6/11	Unit 9 How long have you had these symptoms?	症状の持続時間を聞きましょう
10	6/18	Unit 10 I'm going to take a blood sample.	検査の手順を説明しましょう 1
11	6/25	Unit 11 Let me take your vital signs.	入院患者との会話を学びましょう
12	7/2	Unit 13 There are three kinds of medicine.	薬の説明をしましょう
13	7/9	Unit 14 Are you worried about anything?	文化の違いによる心配事を聞いてあげましょう
14	7/16	Unit 15 It's time to be discharged.	退院後の説明をしましょう
15	7/23	期末試験	

備 考

授業内容は進度に応じて変更する場合があります。

授業科目名	看護英語Ⅱ	担当教員	助教 Lynne Murphy			
開講年次及び学期	2年後期	必修・選択の別	必修			
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1	
授業概要						
This course is designed to help 2nd-year nursing students improve their English communication skills. In addition to increasing their knowledge of specialized medical terminology, students will learn how to express themselves accurately in English.						
G I O（一般目標）						
Applying a balanced approach to the use of communicative activities, students will become familiar with a variety of expressions useful for communication in the workplace. With particular attention to reading ability, students will endeavour to read and speak at a smoother pace. Acquiring good listening and reading skills will prepare the students for effective delivery of expression through English.						
S B O（行動目標）						
Students will learn specialized medical vocabulary. Having studied some nurse-patient communication scenes, they will practice through speaking, reading, and writing activities. The students will enjoy interaction in English during pairwork activities.						
成績評価の方法						
Attitude: 10%, Mid-term test: 20%, Final Exam: 70%						
Students must have attended 2/3 of classes to be able to sit the final exam.						
If students have been late 3 times, it will be marked as an absence.						
Students must have new textbooks with no writing in them.						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
Book: Caring for People						
Authors: Michiko Mayuzumi, Tamiko Miyatsu, Philip Hinder, Kyoko Shida, Masako Sugita, Iwao Yamashita						
Company: Cengage Learning						
ISBN: 978-4-86312-256-7						
オフィスアワー						
掲示板に提示し周知する。						

授業計画

回	授業日	場所	テーマ	授業内容
1	10/2	L2	Meeting Patients	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities
2	10/9	〃	Taking a medical history	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities
3	10/16	〃	Assessing patients' symptoms	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities
4	10/23	〃	1-3 review	evaluation of progress through a variety of assignments
5	10/30	〃	Taking vital signs	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities
6	11/6	〃	Taking a specimen	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities
7	11/13	〃	Conducting medical examinations	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities
8	11/20	〃	4-6 review	evaluation of progress through a variety of assignments
9	11/27	〃	Assessing Pain	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities
10	12/4	〃	Advising about Medication	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities
11	12/11	〃	Improving Patients' Mobility	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities
12	12/18	〃	Maintaining a good diet	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities
13	1/8	〃	Caring for inpatients	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities
14	1/15	〃	Coping with emergencies	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities
15	掲示で連絡		期末試験	

備 考

水曜 1.2限→Bクラス 3.4限→Aクラス

授業科目名	病理学の基礎	担当教員	教授 橋本 龍樹 他			
開講年次及び学期	2年 前期	必修・選択の別	必修			
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2	
授業概要 病理学は、疾病及び病的状態の本質について全身または臓器の構造的・機能的異常として究明する学問である。病理学の基礎においては、疾病の本質を細胞・組織レベルで勉強し、生体の恒常性が乱れている病因とその結果によって生ずる病変について学習する。これまでに蓄積されてきた病気についての知識に根付いた治療方法、看護方法、介護を全人的にとらえながら実践する基礎的能力を習得する。						
G I O（一般目標） 1. 疾病の本質を知る。 2. 疾病の原因について、全身の各臓器に通ずる一般的な原理、概念について理解する。 3. 全身の各臓器、組織に生じた病変について理解する。 4. 看護のアセスメントと援助に必要な病理学的な基礎的知識を習得する。						
S B O（行動目標） 1. 疾病の遺伝的要因と環境要因について説明できる。 2. 細胞・組織の障害、再生と修復、循環障害、炎症、代謝異常、腫瘍、先天異常、遺伝疾患について定義できる。 3. 臓器別の主な病変を具体的に説明できる。 4. 老年期疾患の特徴と老化のメカニズムについて説明できる。 5. 放射線障害とその防御について説明できる。						
成績評価の方法 出席状況及び筆記試験により判定する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教科書：カラーで学べる病理学（第3版）ヌーヴェルヒロカワ 参考図書：カラー ルービン病理学 西川書店						

授業計画

回	月日	時間	テーマ・授業内容	担当
1	4月5日	16:50～18:30	細胞・組織とその障害	橋本
2	4月12日	16:50～18:30	再生と修復	橋本
3	4月19日	16:50～18:30	循環障害 1	橋本
4	4月26日	16:50～18:30	循環障害 2	橋本
5	5月10日	16:50～18:30	腫瘍 I	磯村先生
6	5月17日	16:50～18:30	腫瘍 II	磯村先生
7	5月24日	16:50～18:30	炎症	橋本
8	5月31日	16:50～18:30	先天異常	橋本
9	6月7日	16:50～18:30	老化と老年病, 新生児の病理	橋本
10	6月14日	16:50～18:30	生命の危機	橋本
11	6月21日	16:50～18:30	循環器系の病理	橋本
12	6月28日	16:50～18:30	呼吸器系の病理	橋本
13	7月5日	10:25～12:05	病理診断・検査	丸山先生
14	7月19日	16:50～18:30	消化器系の病理	橋本
15			試験	

備 考

N21教室で行います。毎週金曜日5コマ目に行います。

7月5日(金)は2コマ目に行います。

担当の先生の都合によって、日程が変更されることがあります。

授業科目名	保健福祉行政論	担当教員	教授 小笹 美子 他			
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修			
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2	
授業概要						
保健医療福祉行政は、国の政策である基本的人権に基づく生存権の保障を確保するための行政である。人間の生命の問題、健康の問題、生活の問題に直結しており、行政が総合的に機能することで、人々が日常生活行動を安全に営むことが保障される。保健医療福祉活動を具現化するため、わが国の保健・福祉に関する法制度を中心に基本的な制度の構造・機能を教授する。 また、保健・福祉行政のサービスの連携システムや社会保障・社会福祉制度の問題点、保健・福祉の政策立案過程についても幅広く概説し、地域で生活をしている人々への支援に応用できるようにする。						
G I O（一般目標）						
1. 保健医療福祉行政と暮らしとの関係を理解し、健康課題に沿った保健師の役割が理解できる。 2. 健康課題別の背景となる法体系や制度を理解できる。						
S B O（行動目標）						
1. 保健医療福祉行政の変遷と基本原理が理解できる。 2. 国・都道府県・市町村の役割と機能、行政の単位と仕組みが理解できる。 3. 保健、医療、福祉に関する法令が理解できる。 4. 医療法を基礎とする医療提供体制について理解できる。 5. 社会保障の概念と社会保険の仕組み・内容が理解できる。 6. 社会福祉の概念と生活保護・児童家庭福祉・高齢者福祉・障がい者福祉の制度が理解できる。 7. 健康危機管理に向けた施策と地域の協力体制が理解できる。 8. 保健福祉の充実・発展に向けた行政機関と民間活動の連携が理解できる。						
成績評価の方法						
定期試験、課題レポート、出席及び授業態度（含む発表）で総合的に評価する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
教科書：最新 保健学講座7 保健医療福祉行政論 メジカルフレンド社 最新版 国民衛生の動向 最新版						
参考書：新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度 関係法規 メジカルフレンド社、最新版 標準保健師講座 別巻1 保健医療福祉行政論 医学書院 最新版 これからの保健医療福祉行政論 日本看護協会出版会 最新版 国民の福祉と介護の動向 最新版 国民の保険と年金の動向 最新版						

授業計画

回	月日	曜日	授業内容	担当者
1	9月30日	月	社会保障制度の概要 保健・福祉の制度としての法律	小笹
2	10月7日	月	保健医療制度の変遷	小笹
3	月曜日授業 10月15日	火	医療提供体制	小笹
4	10月24日	8:30～10:10 木	社会福祉の概念と公的扶助	出雲市社会福祉協議会 会長 渡部 英二
5	10月28日	月	発表1（保健福祉の法律）	小笹
6	11月5日	8:30～10:10 火	発表2（保健福祉の法律）	小笹
7	11月11日	月	発表3（保健福祉の法律）	小笹
8	11月18日	月	発表4（保健福祉の法律）	小笹
9	11月25日	月	年金制度	小笹
10	12月2日	月	在宅療養に関する制度	竹田 裕子
11	12月9日	月	事業から制度へ	小笹
12	12月16日	月	保健福祉制度とケース支援1	小笹
13	12月23日	月	保健医療福祉の計画と評価	島根県健康福祉部 谷口 栄作
14	1月6日	月	看護と保健・医療・福祉の連携	小笹
	1月20日	月	（試験）	小笹

備 考

2019年度（月）10:25～12:05 一部（火）8:30～10:10

*都合で予定が変更になることがある。

授業科目名	薬理と薬剤		担当教員	教授 橋本 龍樹・教授 福田 誠司 他		
開講年次及び学期	2年 前期		必修・選択の別	必修		
開講形態	講義		時間数	30	単位数	2
授業概要 薬物と生体の相互作用の結果起こる現象と，その機構を理解し，薬物による疾病の治療や再発予防に関する理論的な基礎を学ぶ。また，主要な疾患に用いる薬物について作用機構，薬物の特徴，使用時における看護師としての注意点などを学ぶ。さらに薬物による副作用や相互作用および薬剤の管理と与薬について学ぶ。						
G I O（教育目標） 薬理学の考え方と，薬物による疾病の治療やその予防に関する理論の基礎を理解する。さらに主要な疾患とその治療薬について看護の視点から理解する。						
S B O（行動目標） 1. 医薬品を正しく，効果的に用いるために必要な事項について説明できる。 2. 医薬品と関わりのある法令のうち，看護の現場で必要な事項を説明できる。 3. 医薬品と生体の反応について理解し，説明できる。 4. 主な治療薬について，使用される疾患と治療薬の特徴を説明できる。 5. 医薬品の副作用，相互作用について理解し，説明できる。						
成績評価の方法 学期末の定期試験によりおこなう。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教科書：「系統看護学講座，専門基礎5，薬理学」大鹿英世，吉岡充弘編著，医学書院 参考書：「今日の治療薬2017」浦部昌夫ほか 南江堂 「シンプル薬理学」野村隆英ほか 南江堂						

授業計画

回	月日	時間	テ ー マ	授 業 内 容	備 考
1	4月11日	13:00～ 14:40	総論 1	薬理学の概念，薬物受容体，薬理作用について学ぶ。	小林先生
2	4月18日	13:00～ 14:40	総論 2	薬物体内動態，薬効に影響を与える要因について学ぶ。	小林先生
3	4月25日	13:00～ 14:40	末梢神経作用薬 1	自律神経作用薬概論，交感神経作用薬について学ぶ。	橋本
4	5月9日	13:00～ 14:40	末梢神経作用薬 2	副交感神経作用薬，筋弛緩薬，局所麻酔薬について学ぶ。	橋本
5	5月16日	13:00～ 14:40	中枢神経作用薬 1	全身麻酔薬，催眠薬と抗不安薬，麻薬性鎮痛薬について学ぶ。	橋本
6	5月23日	13:00～ 14:40	中枢神経作用薬 2	向精神薬，抗うつ薬，パーキンソン症候群治療薬，抗てんかん薬について学ぶ。	橋本
7	5月30日	13:00～ 14:40	心臓・血管系作用薬 1	うっ血性心不全治療薬，抗不整脈薬，強心薬，狭心症治療薬，循環器系救急蘇生薬について学ぶ。	橋本
8	6月6日	13:00～ 14:40	心臓・血管系作用薬 2	高血圧治療薬，利尿薬，脂質異常症治療薬，血液造血系作用薬について学ぶ。	橋本
9	6月13日	13:00～ 14:40	抗感染症薬 1	抗感染症薬の作用機序と主な薬剤について学ぶ。	福田先生
10	6月20日	13:00～ 14:40	抗感染症薬 2，抗腫瘍薬	特別な抗菌薬と抗腫瘍薬の作用機序と主な薬剤，副作用とその対策について学ぶ。	福田先生
11	6月27日	13:00～ 14:40	免疫治療薬，抗アレルギー，抗炎症薬	免疫治療薬，抗ヒスタミン薬，エイコサノイド，非ステロイド性・ステロイド性抗炎症薬，関節リウマチ治療薬，痛風治療薬について学ぶ。	福田先生
12	7月4日	13:00～ 14:40	皮膚科・眼科用薬，漢方薬，消毒薬	皮膚科・眼科用薬，消毒薬について学ぶ。	福田先生
13	7月11日	13:00～ 14:40	呼吸器系・消化器系作用薬	喘息治療薬，鎮咳薬，消化器系疾患治療薬について学ぶ。	橋本
14	7月18日	13:00～ 14:40	生殖器系作用薬と物質代謝に関連する治療薬	生殖器系作用薬，ホルモンおよびホルモン拮抗薬，ビタミンについて学ぶ。	橋本
備 考					

授業科目名	疾 病 論 I		担当教員	教授 福田 誠司 他		
開講年次及び学期	2 年 前期		必修・選択の別	必修		
開講形態	講義		時間数	30	単位数	2
授業概要 本講義では、患者の身体や精神機能に疾病がどのような影響を及ぼすのかを学習する。疾病論 I では、循環器，呼吸器，消化器，内分泌・代謝の疾病の病態について学び，適切な看護計画を立て，実際のケアを行う際の基礎的知識を身につける。						
G I O（一般目標） 系統別に各疾患を病態に基づいて学習し，根拠に基づいた看護を提供するため必要な知識を修得する。						
S B O（行動目標） 1. 疾患に伴う自覚及び他覚的症候とその病態生理について説明することが出来る。 2. 系統別に代表的な疾患が列举でき，その疾病概念，診断（症状，理学所見，検査所見），治療法，経過，予後について説明できる。 3. 患者の病態に則した看護の基本について説明できる。						
成績評価の方法 出席状況及び筆記試験により判定する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教 科 書：系統看護学講座（医学書院） 成人看護学〔2〕呼吸器，成人看護学〔3〕循環器，成人看護学〔5〕消化器，成人看護学〔6〕内分泌・代謝 参考図書：病気がみえる（MEDIC MEDIA）1 消化器，2 循環器，3 糖尿病・代謝・内分泌，4 呼吸器						

授業計画

回	月 日	時 間	テーマ・授業内容	担当者
1	4月8日	14:55～16:35	循環器疾患 1	福田
2	4月15日	14:55～16:35	循環器疾患 2	福田
3	4月22日	14:55～16:35	循環器疾患 3	福田
4	5月13日	14:55～16:35	呼吸器疾患 1	福田
5	5月20日	14:55～16:35	呼吸器疾患 2	福田
6	5月27日	14:55～16:35	呼吸器疾患 3	福田
7	6月3日	14:55～16:35	消化器疾患 1	福田
8	6月10日	14:55～16:35	消化器疾患 2	福田
9	6月17日	14:55～16:35	消化器疾患 3	福田
10	6月24日	14:55～16:35	肝臓疾患	福田
11	7月1日	14:55～16:35	消化器の外科的治療	平原先生
12	7月8日	14:55～16:35	循環器の外科的治療（予定）	末廣先生
13	7月12日 （金）	14:55～16:35	糖尿病・代謝・内分泌 1	福田
14	7月22日	14:55～16:35	糖尿病・代謝・内分泌 2	福田

備 考

N11教室で行います。毎週月曜日4コマ目に行います。
担当の先生の都合によって、日程が変更されることがあります。

授業科目名	疾 病 論 II		担当教員	教授 福田 誠司 他		
開講年次及び学期	2 年 前期		必修・選択の別	必修		
開講形態	講義		時間数	30	単位数	2
授業概要						
本講義では、患者の身体や精神機能に疾病がどのような影響を及ぼすのかを学習する。疾病論Ⅱでは、アレルギー・膠原病、脳・神経、血液、運動器の病態について学び、適切な看護計画を立て、実際のケアを行う際の基礎的知識を身につける。臨床検査の基礎においては、さまざまな疾患を有する患者において、どのような検査が行われ、診断・治療に結びついているかを学習する。さらに、脳神経外科の手術、リハビリテーション医学の概要についても学習する。						
G I O（一般目標）						
1. 患者に適切な診断、治療を行うために必要な検査法についての基本的知識を学習する。 2. 系統別に各疾患を病態に基づいて学習し、根拠に基づいた看護を提供するため必要な知識を修得する。						
S B O（行動目標）						
1. 代表的な疾患を診断するための血液検査、生理機能検査、放射線検査及びそれらの検査所見について説明できる。 2. 疾患に伴う自覚及び他覚的症候とその病態生理について説明することが出来る。 3. 系統別に代表的な疾患が列挙でき、その疾病概念、診断（症状、理学所見、検査所見）、治療法、経過、予後について説明できる。 4. 脳の疾患と頭部外傷の病態生理を理解し、脳・神経外科における診断法、治療法が説明できる。 5. リハビリテーションの意義、治療法、評価方法について説明できる。 6. 患者の病態に則した看護の基本について説明できる。						
成績評価の方法						
出席状況及び筆記試験により判定する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
教 科 書：系統看護学講座（医学書院） 成人看護学〔4〕血液、成人看護学〔7〕脳・神経、成人看護学〔10〕運動器、成人看護学〔11〕アレルギー・膠原病・感染症、臨床検査 参考図書：病気がみえる（MEDIC MEDIA）5血液、6免疫・膠原病・感染症、7脳・神経、異常値のわかるメカニズム（医学書院）						

授業計画

回	月 日	時 間	テーマ・授業内容	担当者
1	4月9日	10:25～12:05	検査の基礎 1	福田
2	4月16日	10:25～12:05	検査の基礎 2	福田
3	4月23日	10:25～12:05	脳・神経系疾患 1	福田
4	5月7日	10:25～12:05	脳・神経系疾患 2	福田
5	5月14日	10:25～12:05	脳・神経系疾患 3	福田
6	5月21日	10:25～12:05	脳神経外科	永井先生
7	5月28日	10:25～12:05	整形疾患 1	内尾先生
8	6月4日	10:25～12:05	整形疾患 2	内尾先生
9	6月11日	10:25～12:05	脳・神経系疾患 4	福田
10	6月18日	10:25～12:05	血液疾患 1	福田
11	6月25日	10:25～12:05	血液疾患 2	福田
12	7月2日	10:25～12:05	リハビリテーション医学	酒井先生
13	7月9日	10:25～12:05	アレルギー・膠原病・感染症 1	福田
14	7月16日	10:25～12:05	アレルギー・膠原病・感染症 2	福田
備 考 N11教室で行います。毎週火曜日2コマ目に行います。 担当の先生の都合によって、日程が変更されることがあります。				

授業科目名	疾 病 論 Ⅲ		担当教員	教授 福田 誠司 他		
開講年次及び学期	2 年 前期		必修・選択の別	必修		
開講形態	講義		時間数	30	単位数	2
授業概要 本講義では、患者の身体や精神機能に疾病がどのような影響を及ぼすのかを学習する。疾病論Ⅲでは、1) 精神神経疾患、2) 女性生殖器疾患・産科、3) 腎・泌尿器疾患、4) 皮膚疾患、5) 眼科疾患、6) 耳鼻咽喉疾患、7) 歯・口腔器疾患の疾病の成り立ちと回復について学び、適切な看護計画を立て、実際のケアを行う際の基礎的知識を身につける。						
G I O（一般目標） 系統別に各疾患を病態に基づいて学習し、根拠に基づいた看護を提供するため必要な知識を修得する。						
S B O（行動目標） 1. 疾患に伴う自覚及び他覚的症候とその病態生理について説明することが出来る。 2. 系統別に代表的な疾患が列举でき、その疾病概念、診断（症状、理学所見、検査所見）、治療法、経過、予後について説明できる。 3. 患者の病態に則した看護の基本について説明できる。						
成績評価の方法 出席状況及び筆記試験により判定する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教 科 書：系統看護学講座（医学書院）精神看護学〔1〕精神看護の基礎、精神看護学〔2〕精神看護の展開、成人看護学〔8〕腎・泌尿器、成人看護学〔9〕女性生殖器、成人看護学〔12〕皮膚、成人看護学〔13〕眼、成人看護学〔14〕耳鼻咽喉、成人看護学〔15〕歯・口腔						

授業計画

回	月 日	時 間	テーマ・授業内容	担当者
1	4月11日	14:55～16:35	精神神経疾患 1	河野先生
2	4月11日	16:50～18:30	皮膚疾患 1	森田先生
3	4月18日	14:55～16:35	精神神経疾患 2	河野先生
4	5月9日	16:50～18:30	皮膚疾患 2	千貫先生
5	5月16日	16:50～18:30	歯・口腔疾患 1	管野先生
6	5月23日	16:50～18:30	歯・口腔疾患 2	管野先生
7	5月30日	16:50～18:30	女性生殖器疾患・産科	皆本先生
8	6月6日	16:50～18:30	女性生殖器疾患・婦人科	折出先生
9	6月13日	16:50～18:30	腎・泌尿器疾患 1	洲村先生
10	6月20日	16:50～18:30	腎・泌尿器疾患 2	本田先生
11	6月27日	16:50～18:30	耳鼻咽喉疾患 1	清水先生
12	7月4日	16:50～18:30	耳鼻咽喉疾患 2	青井先生
13	7月11日	16:50～18:30	眼疾患 1	児玉先生
14	7月18日	16:50～18:30	眼疾患 2	児玉先生

備 考

N11教室で行います。

毎週木曜日 16:50からの予定ですが、例外がありますので注意して下さい。

先生の都合で日程が変更になる場合があります

授業科目名	疫学・衛生統計	担当教員	教授 神田 秀幸 他			
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修			
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2	
授業概要 疫学・衛生統計は、現象をしっかりと観察し、分析を加えた上で状況を推測する科学的方法の一分野である。事実の客観的な把握と、事実に基づいた要因の推測は、見えるものとしての現象あるいは現実から、その奥にある直接には目に見えない世界としての科学的論理を構築しようとする試みである。現実と理論との往復がこの学問の本質である。 本科目では、疫学・衛生統計の基本的な考え方や見方を学習するとともに、様々な疾病における疫学や衛生統計の活用・応用について学習する。						
G I O（一般目標） 1. 疫学・衛生統計の基本的概念・方法論を理解する。 2. 集団における健康問題を把握・分析する方法を学習する。 3. 集団の健康状態を観察・推測する方法としての衛生統計や疫学を理解する。 4. 保健・衛生統計指標について学習する。 5. 主な疾患の疫学を学習し、その疾患に対する個別の対策を考察できる。						
S B O（行動目標） 1. 疫学および衛生統計の概念と方法を説明できる。 2. 集団の健康を量的に把握する健康・疾病指標を概説できる。 3. 疾病予防と健康管理の方法を説明できる。 4. 生活習慣病の疫学について概要を説明できる。 5. 飲酒や喫煙などの生活習慣の管理について説明できる。 6. 感染症の基礎概念、流行の概念、対策等を概説できる。 7. わが国の保健衛生状態を各種統計を用いて、説明できる。						
成績評価の方法 筆記試験						
教科書 牧本清子 著者代表. 標準保健師講座 別巻2 疫学・保健統計学. 医学書院. 最新版 国民衛生の動向. 厚生労働統計協会, 最新版						
オフィスアワー 公衆衛生学：適宜 環境予防医学：E-mail:kanpo2@med.shimane-u.ac.jpへ連絡してください。						

授業計画

回	月 日(曜)	時間	テーマ	授業内容	担当者
1	9月26日(木)	13:00-14:40	疫学・保健統計総論	疫学・保健統計の重要性	神田
2	10月 3日(木)	13:00-14:40	保健統計調査	人口静態・動態統計, 等	久松
3	10月10日(木)	13:00-14:40	疫学的研究方法(1)	記述疫学	久松
4	10月24日(木)	13:00-14:40	疫学的研究方法(2)	記述疫学演習	久松
5	10月31日(木)	13:00-14:40	疫学的研究方法(3)	分析疫学 (症例対照研究・コホート研究)	久松
6	11月 7日(木)	13:00-14:40	疫学的研究方法(4)	介入研究	久松
7	11月14日(木)	13:00-14:40	疫学的研究方法(5)	スクリーニング, 敏感度と特異度, 等	久松
8	11月21日(木)	13:00-14:40	主な疾患の疫学(1)	生活習慣病の疫学 (1): 危険因子 (高血圧, 糖尿病, 等)	久松
9	12月 5日(木)	13:00-14:40	主な疾患の疫学(2)	生活習慣病の疫学 (2): 心血管病, 認知症, 等	久松
10	12月12日(木)	13:00-14:40	主な疾患の疫学(3)	生活習慣病の疫学 (3): がん	久松
11	12月19日(木)	13:00-14:40	主な疾患の疫学(4)	感染症の疫学	久松
12	1月 9日(木)	13:00-14:40	主な疾患の疫学(5)	栄養・運動と健康	久松
13	1月16日(木)	13:00-14:40	試験		
14	1月23日(木)	13:00-14:40	総括		神田

備 考

講義室：N11 講義室

講義日程：木曜日 13:00-14:40

授業科目名	上級TOEICセミナー I (Advanced TOEIC Seminar I)	担当教員	教授 岩田 淳		
開講年次及び学期	看護学科 1 - 4 年	必修・選択の別	自由		
開講形態	単位認定用科目	時間数	(20時間)	単位数	0.5
授業概要 本科目は、TOEIC Listening & Reading Test 600点（日常生活のニーズを充足し限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができるレベル）のスコアを有する学生に認定する科目です。 ＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。					
G I O（一般目標） TOEIC Listening & Reading Testの受験により、仕事で役立つ英語リスニング能力、英文法力、並びに英語読解能力の向上を目指す。数値的な目標としては、TOEIC Listening & Reading Test 600点以上の獲得を目指す。					
S B O（行動目標） (1) 文レベルからある程度まとまった量の英語を聞き、その内容が理解できる。 (2) 与えられた英文について、すばやく的確な文法的判断ができる。 (3) 与えられた英語の文章について、求められた情報をさっと読みとることができる。					
成績評価の方法 本学入学後に受験したTOEIC Listening & Reading TestもしくはTOEIC Listening & Reading Test IP（団体受験）のスコアが600点以上であれば、履修届とスコアシートを提出することで、本科目の単位を認定する。1年生は年2回（7月、2月）にTOEIC Listening & Reading Test IP試験を実施します。それ以外の学生は松江キャンパスで年6回（1,3,5,7,9,11月）TOEIC Listening & Reading Testを受験できます（要受験料：5,725円税込）					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 (参考書) (1) TOEICテスト公式問題集 新形式問題対応編（国際ビジネスコミュニケーション協会）3,024円 (2) 公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 1-4（国際ビジネスコミュニケーション協会）各3,024円					
オフィスアワー 英語学習支援室eクリニック（講義棟2階）にて受験に関する助言や情報を提供します。また参考書、問題集が閲覧できます。eクリニックオフィスアワー：平日10:00-18:30					

授業科目名	上級TOEICセミナーⅡ (Advanced TOEIC SeminarⅡ)	担当教員	教授 岩田 淳		
開講年次及び学期	看護学科1－4年	必修・選択の別	自由		
開講形態	単位認定用科目	時間数	(20時間)	単位数	0.5
授業概要 本科目は、TOEIC Listening & Reading Test 730点（どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えているレベル）のスコアを有する学生に認定する科目です。 ＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。					
G I O（一般目標） TOEIC Listening & Reading Test の受験により、仕事で役立つ英語リスニング能力、英文法力、並びに英語読解能力の向上を目指す。数値的な目標としては、TOEIC730点以上の獲得を目指す。					
S B O（行動目標） (1) 文レベルからある程度まとまった量の英語を聞き、その内容が理解できる。 (2) 与えられた英文について、すばやく的確な文法的判断ができる。 (3) 与えられた英語の文章について、求められた情報をさっと読みとることができる。					
成績評価の方法 本学入学後に受験したTOEIC Listening & Reading TestもしくはTOIEC Listening & Reading Test IP（団体受験）のスコアが730点以上であれば、履修届とスコアシートを提出することで、本科目の単位を認定する。1年生は年2回（7月、2月）にTOEIC Listening & Reading Test IP試験を実施します。それ以外の学生は松江キャンパスで年6回（1,3,5,7,9,11月）TOEIC Listening & Reading Testを受験できます（要受験料：5,725円税込）					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 （参考書） (1) TOEICテスト公式問題集 新形式問題対応編（国際ビジネスコミュニケーション協会）3,024円 (2) 公式 TOEIC Listening & Reading 問題集1-4（国際ビジネスコミュニケーション協会）各3,024円					
オフィスアワー 英語学習支援室eクリニック（講義棟2階）にて受験に関する助言や情報を提供します。また参考書、問題集が閲覧できます。eクリニックオフィスアワー：平日10:00-18:30					

授業科目名	グローバルリテラシーセミナーⅠ (Seminar on Global LiteracyⅠ)	担当教員	嘱託講師 川上 サマンサ			
開講年次及び学期	看護学科1－4年・前期	必修・選択の別	自由			
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5	
授業概要 高度な英語コミュニケーション能力を身につけるとともに、異文化間に生じる諸課題を検討し、国際感覚あふれるグローバルな視野から物事を批判的に捉えることができる資質（グローバル・リテラシー）を身につけることを目的とする。本授業では、適切な英語表現を用いてディスカッションをする、意見を述べる、議論を進行する、進捗状況を報告する、といった様々なミーティングの場面に役立つ英語表現の演習を行う。 * 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。						
G I O（一般目標） Students will learn language to politely and actively participate in meetings.						
S B O（行動目標） Students will gain confidence and the ability to express themselves more clearly. Meeting Skills: ・ How to politely speak up and express opinions ・ How to agree and disagree with others ・ How to report progress ・ Setting up a meeting and steps of the meeting						
成績評価の方法 Attitude（10 points）, Homework（30 points）, Midterm Test（30 points: 15 points written, 15 points interview）, Final Test（30 points: 15 points written, 15 points interview）						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教科書：無し An online LMS（learning management system） will be used.						
オフィスアワー 質問はメールで受け付けます。Email: shimane.sam@gmail.com						

授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	5.13(月)	17:30 -19:00	L2	• Self Introduction • Class Introduction	• Self introductions • Go over syllabus and how to study for this class
2	5.20(月)	〃	〃	• Arranging and Preparing for a Meeting	• Emails • General Meeting Vocabulary • Agendas
3	5.27(月)	〃	〃	• Opening a Meeting	• Using to-clauses to state purpose • Using sequencing words to make plans easily understood • Checking understanding
4	6.3(月)	〃	〃	• Presenting Information / Reporting on Progress	• Stating facts and giving reasons • Building an argument for your position • Asking for opinions and feedback
5	6.10(月)	〃	〃	• Mid-term Test Written and Interview	• Written and Interview
6	6.17(月)	〃	〃	• Problem Solving	• Explaining the problem / brainstorming • Making suggestions • Responding to suggestions
7	6.24(月)	〃	〃	• Agreeing and Disagreeing	• Building/developing an argument • Using conditional to talk about reasons and consequences • Agreeing and disagreeing
8	7.1(月)	〃	〃	• Summarizing and Closing	• Summarizing • Closing a meeting • Organizing follow-up
9	7.8(月)	〃	〃	• Class Summary / Overview	• Review points that were difficult • Ask questions and practice before the test • Feedback
10	7.22(月)	〃	〃	• Final Test Written and Interview	• Written and Interview

備 考

Students are expected to do online homework before each class; this homework will prepare students for the class. In class, students should be ready to practice using what they have studied to speak. Class time will be used for communicative activities, maximizing students' speaking time.

授業科目名	グローバルリテラシーセミナーⅡ (Seminar on Global Literacy Ⅱ)	担当教員	嘱託講師 川上 サマンサ			
開講年次及び学期	看護学科 1 - 4 年・後期	必修・選択の別	自由			
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5	
授業概要 高度な英語コミュニケーション能力を身につけるとともに、異文化間に生じる諸課題を検討し、国際感覚あふれるグローバルな視野から物事を批判的に捉えることができる資質（グローバル・リテラシー）を身につけることを目的とする。本授業では、ディスカッションやディベートにおいて、相手の意見に同意する、反対する、要求を伝える、相手や自分のニーズを理解した上で議論する、妥協点を見出す、といった英語による「交渉スキル (negociating skills)」を身につけるための実践的な語学演習を行います。 * 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。						
G I O（一般目標） Students will learn language to politely and actively participate in negotiation situations.						
S B O（行動目標） Students will gain confidence and the ability to express themselves more clearly in order to obtain their goals. Negotiating Skills: ・ How to prepare for negotiating by considering the needs and wants of others and yourself ・ How to express your needs and wants ・ How to agree and disagree with others ・ How to bargain and compromise						
成績評価の方法 Attitude（10 points）, Homework（30 points）, Midterm Test（30 points: 15 points written, 15 points interview）, Final Test（30 points: 15 points written, 15 points interview）						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教科書：無し An online LMS（learning management system） will be used.						
オフィスアワー 質問はメールで受け付けます。Email: shimane.sam@gmail.com						

授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	10.21(月)	17:00 -18:30	L2	• Self Introduction • Class Introduction	• Self introductions • What is negotiation? / The ten rules of negotiation • Go over syllabus and how to study for this class
2	10.28(月)	〃	〃	• Preparing to Negotiate	• Asking for and giving opinions and reasons • Responding to opinions (agreeing & disagreeing) • Prioritizing: HIT and SMART objectives
3	11.11(月)	〃	〃	• Opening the Negotiation	• Welcoming and making introductions • Making small talk • Setting the agenda and telling interests
4	11.18(月)	〃	〃	• Making Proposals	• Making proposals • Accepting & rejecting proposals • Offering counter-proposals
5	11.25(月)	〃	〃	• Mid-term Test Written and Interview	• Written and Interview
6	12.9(月)	〃	〃	• Reaching Agreement	• Persuading and bargaining • Checking understanding • Clarifying and showing understanding
7	12.16(月)	〃	〃	• Dealing with Deadlock	• Asking & answering questions • Slowing things down and taking a break • Body language
8	12.23(月)	〃	〃	• Concluding the Deal	• Summarizing • Confirming agreement • Outlining future actions/follow-up • Thanking and saying good bye
9	1.6(月)	〃	〃	• Class Summary / Overview	• Review points that were difficult • Ask questions and practice before the test • Feedback
10	1.20(月)	〃	〃	• Final Test Written and Interview	• Written and Interview

備 考

Students are expected to do online homework before each class; this homework will prepare students for the class. In class, students should be ready to practice using what they have studied to speak. Class time will be used for communicative activities, maximizing students' speaking time.

授業科目名	海外留学セミナー (Seminar on Overseas Study)	担当教員	講師 John Telloyan			
開講年次及び学期	看護学科 1 - 4 年・後期	必修・選択の別	自由			
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5	
授業概要						
This course is designed as a practical overview of culture and intercultural communication. The teacher will attempt to link theory, research, practice and experience with specific activities to help the students develop cultural awareness. Students will also study and use basic powerpoint skills to create short group presentations to introduce Japanese culture, the Izumo area, our school and the healthcare system of Japan when they go overseas. 本授業では、海外研修や留学に必要となる語学演習を行うとともに、異文化の理解関する理解を深めます。また日本や島根の文化、大学、日本の医療制度を英語で紹介するプレゼンテーションの演習を行います。(海外研修A参加者は必修)。 ＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。						
G I O（一般目標）						
The goal of this class is to help the students improve their cultural awareness as well as to improve their listening and speaking skills. We will use listening exercises specifically geared toward travel English under the broader TOEIC theme. We will also go over a few basic powerpoint techniques to help students prepare brief presentations to introduce various topics about Japanese culture, the Izumo area, our school and the healthcare system of Japan when they go overseas.						
S B O（行動目標）						
Speaking: Advanced practice of key vocabulary and sentence patterns essential to basic conversational skills. Culture: Improved self-awareness as well as deeper cultural awareness. Technology: work with basic powerpoint techniques.						
成績評価の方法						
Attitude: 10% Exam (presentation): 90%						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
教材は授業中に配布						
オフィスアワー						
掲示板に掲示し周知する。						

授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	11.26(火)	17:00～ 18:30	L2	Intro + Toeic Travel Unit 1a	So you don't need dinner tonight?
2	12.3(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 1b	Cultural Reading, pp. 10-11
3	12.10(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 2	Do you have anything to declare?
4	12.17(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 3	Powerpoint Advice
5	12.24(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 4	What is culturally acceptable?
6	1.7(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 5	Homestay advice : Touring the house
7	1.14(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 6	What do you mean? NZ videos: Hobbit + Hobbiton
8	1.21(火)	〃	〃	Communications with your host family	Cultural Values Clarification
9	2.4(火)	〃	〃	Homestay Do's and Don'ts	"Here's your tip." Saying good-bye
10	2.18(火)	〃	〃	Student Presentations	Confidence in communication (Test)

備 考

授業科目名	アカデミックイングリッシュA (Presentation Skills)	担当教員	講師 John Telloyan			
開講年次及び学期	看護学科 1 - 4 年・前期	必修・選択の別	自由			
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5	
授業概要						
The mere ability to speak English is no guarantee that a person can present in English. Presentations in English will build and improve student English skills and knowledge and give confidence to make effective presentations in English. セミナーや学会で英語でプレゼンテーションする際に必要となる基礎的なプレゼンテーションスキルの向上を目指した語学演習を行います。 ＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科 3 単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。						
G I O（一般目標）						
Speaking of Speech New Edition focuses on the three messages in speech: the physical message, the visual message and the story message. We will attempt to build the students' skills and knowledge, starting with the basics. We will examine a whole range of techniques. Each step will introduce the students to new skills and language which we will practice.						
S B O（行動目標）						
Students will analyze various presentations, give full presentations, get feedback and set targets for future presentations. The focus will be on the students at all stages. We will encourage each student to analyze, experiment, take a risk, have fun, accept, reject and finally, to find out what works personally for each student.						
成績評価の方法						
Attitude: 10%						
Final Speech: 90%						
1) each student should purchase their own new textbook for this class						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
Book: Speaking of Speech（New Edition）						
Authors: David Harrington and Charles LeBeau						
Company: MacMillan						
¥2,600（税別）						
オフィスアワー						
掲示板に掲示し周知する。						

授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	5.7(火)	17:30～ 19:00	L2	Intro + Unit 1	Posture and Eye Contact
2	5.14(火)	〃	〃	Unit 2	Gestures
3	5.21(火)	〃	〃	Unit 3	Voice Inflection
4	5.28(火)	〃	〃	Unit 4	Effective Visuals
5	6.4(火)	〃	〃	Unit 5	Explaining Visuals
6	6.11(火)	〃	〃	Unit 6	The Introduction
7	6.18(火)	〃	〃	Unit 7	The Body
8	6.25(火)	〃	〃	Unit 8	The Conclusion
9	7.2(火)	〃	〃	Review	Practice for the Final Presentation
10	7.9(火)	〃	〃	Final Exam	Final Performance

備 考

授業科目名	アカデミックイングリッシュB (Writing Skills)	担当教員	助教 Lynne Murphy			
開講年次及び学期	看護学科 1 - 4 年・後期	必修・選択の別	自由			
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5	
授業概要						
This course is designed as an elective course for students wishing to advance their academic writing skills. We are striving to provide students with a practical and efficient approach to learning the skills, strategies and knowledge necessary for successful writing. 本授業では、英語論文やレポート執筆の際に必要な上級レベルのライティング能力の向上を目指した語学演習を行います。 ＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科 3 単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。						
G I O（一般目標）						
The goal of this class is to introduce students to the academic paragraph. We will review sentence structure and quickly move to developing and formatting an academic paragraph.						
S B O（行動目標）						
Each unit contains an authentic text to support students to provide ideas and context. Students will read and analyze these texts to see how others have written on the same or similar topics. The students will be encouraged to work together, share ideas and edit their own writing to refine their writing to be the best it can be.						
成績評価の方法						
Attitude: 10%, Assignments: 20%, Final Exam: 70%						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
Book: Effective Academic Writing（2nd Edition） Authors: Alice Savage Masoud Shafiei Company: Oxford University Press ISBN：978-0-19-432346-8						
オフィスアワー						
掲示板に掲示し周知する。						

授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	10.31(木)	17:00～ 18:30	L2	Introduction + Unit 1	Stimulating ideas; Developing a paragraph
2	11.7(木)	〃	〃	Sentence + paragraph	Fragments / run-on sentences
3	11.14(木)	〃	〃	Unit 2	Descriptive organization
4	11.21(木)	〃	〃	Descriptive paragraphs	Specific language / use of 'be'
5	11.28(木)	〃	〃	Unit 3	Example organization
6	12.5(木)	〃	〃	Example paragraphs	Using examples as supporting details
7	12.12(木)	〃	〃	Unit 4	Process organization
8	12.19(木)	〃	〃	Process paragraphs	Sensory and emotional details
9	1.9(木)	〃	〃	Unit 5	The simple past and past continuous forms
10	1.16(木)	〃	〃	Opinion paragraphs (Test)	Using reasons to support an opinion (Test)

備 考

授業科目名	臨床英語 (English for Clinical Purposes)		担当教員	教授 福田 誠司		
開講年次及び学期	看護学科 1 - 4 年・後期		必修・選択の別	自由		
開講形態	演習		時間数	(20時間)	単位数	0.5
授業概要 本科目は医学英文の読解や英語によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて、臨床に必要な英語力の向上を目指します。主な対象は4年生以上としますが1-3年生についても受講できます。授業は学生が中心の英語によるプレゼンテーションとディスカッションをメインに進めます。海外からの留学生に参加してもらうことも配慮し国際的に通用する英語の基礎をトレーニングします。通年木曜日に実施し、初回の5/9(木)以降は教員と受講者で相談して決定します。 * 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。						
G I O（一般目標） 臨床医学に関する科学的・医学的事項に関して自ら発表したり質疑応答することができる						
S B O（行動目標） 1) 臨床医学に関する科学的・医学的事項に関して英語で発表することができる 2) 英語で質疑応答することができる 3) 英語で記載された症例報告や研究論文を理解できる						
成績評価の方法 授業への取り組み（授業の準備，出席，討論への参加など） 50% レポートもしくは課題発表 50%						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 New England Journal of Medicine の Case Report 100 cases in Clinical Medicine						

授業科目名	海外研修 A (Overseas Study Program A)	担当教員	教授 岩田 淳			
開講年次及び学期	看護学科 1,3 年編入生・春休み中	必修・選択の別	自由			
開講形態	実習	時間数	(40 時間)	単位数	1	

授業概要

本研修は、医学部がニュージーランドの Waikato Institute of Technology (WINTEC) の国際交流課、英語学部、健康学部と協力し、本学部の医学科、看護学科 1, 2 年生を対象に実施する海外研修プログラムです。本プログラムでは、2 週間の海外研修、事前事後の研修を通じて、(1) 基礎的な英語コミュニケーション能力と専門英語（医学英語、看護英語）の基礎力向上をはかり、(2) 海外の医療教育機関や施設の見学を通じて、医療に関する知識や視野を広げ、(3) ホームステイ等による異文化交流体験を通じて国際性を養うことを目的としている。研修期間中には次のような活動を行います。

- ・英語学習（日常英会話・基礎的な医学英語／看護英語）
- ・施設見学（クリニック、病院、高齢者施設、ホスピス、助産施設等）
- ・講義（ニュージーランドの医療制度等）
- ・他国からの留学生との交流
- ・各種イベント（歓迎・お別れパーティー、ニュージーランドの自然と文化見学等）

＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計 120 時間（看護学科 3 単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。

対 象

医学科 1 - 2 年生・看護学科 1, 3 年編入生

成績評価の方法

事前指導、事後指導、研修報告書及び報告会での発表により評価する。

実習日程・履修申込時期その他

実習日程は 3 月初旬～中旬を予定しています。研修の説明会、参加者募集は 10 月初旬に行います。また、本研修に参加する学生は、事前指導としてアドバンスト・イングリッシュ・スキルコースの「海外留学セミナー（Seminar on Overseas Study）」（後期）の履修を必須とします。

授業科目名	海外研修 B (Overseas Study Program B)	担当教員	募集時に決定			
開講年次及び学期	医学科6年生・5月～11月の間2～4週間	必修・選択の別	自由			
開講形態	実習	時間数	(40時間)	単位数	1	
授業概要 医療に関する体験を主たる目的とした40時間以上の医学部主催の海外研修（ワシントン大学，タマサート大学，マヒドン大学，コンケン大学，北京大学，慶尚大学校，メルボルン大学等）。海外の医療施設・研究所等で医療に関する体験学習，施設見学，異文化体験等を通じて，海外における地域医療，家庭医療について学び医療人としての視野を広げることがを目的とします。 ・ 海外の地域医療・家庭医療について学ぶ。 ・ 海外の保健制度について学ぶ。 ・ 海外の医療教育機関や施設の見学を通じて，医療に関する知識や視野を広げる。 ・ 異文化交流体験を通じて，国際性を養う。 ＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。						
対 象 医学科（主として6年）を対象とした海外研修。						
成績評価の方法 事前指導，事後指導，研修報告書及び報告会での発表により評価する。						
実習日程・履修申込時期その他 実習日程，履修申込時期は，後日通知する。応募者を対象に選考を行い，研修先を決定します。						

授業科目名	海外研修C (Overseas Study Program C)	担当教員	募集時に決定			
開講年次及び学期	看護学科1-4年・通年	必修・選択の別	自由			
開講形態	実習	時間数	(40時間)	単位数	1	

授業概要

医学部が主催する「海外研修A」、「海外研修B」とは異なり、学生が自主的かつ主体的に行う医療に関する語学学習や語学研修や体験を主たる目的とした40時間以上の海外研修。

学生が主体的に企画した計画を審査する。

審査項目は次のとおり

- ・研修目的、内容、期間、時間数
- ・受入機関の体制（施設・人員等）
- ・安全確保と緊急時の連絡体制（渡航先の安全確認、安全教育、海外旅行保険加入、緊急時連絡網等）
- ・事前研修（安全教育等）、事後研修（報告書、報告会）の計画

審査で「海外研修C」に該当する研修と判断された場合、研修実施後に報告書を提出すること。提出された報告書を教務委員会で審議し、「海外研修C」の単位を認定する。

＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。

対 象

医学科、看護学科全学年を対象とした海外研修。

成績評価の方法

事前指導、事後指導、研修報告書及び報告会での発表により評価する。

実習日程・履修申込時期その他

海外研修C申請書及び添付書類を渡航1月前までに学務課教育改革・教務担当に提出する。
企画前であっても学務課教育改革・教務担当で相談を受け付ける。

專 門 教 育 科 目

專 門 科 目

授業科目名	看 護 理 論	担当教員	准教授 福岡 美紀, 講師 宮本 まゆみ			
開講年次及び学期	2 年 前期	必修・選択の別	必修			
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2	

授業概要

看護の実践の歴史は古く、人々は太古の昔から自然発生的な愛情をもって家族や周囲の人々の生老病死に深くかかわってきました。一方、看護の理論が開発されたのは主に20世紀後半で、両者の歴史的経過には大きな時間の開きがあります。そして今日では、「実践から導かれた理論」「理論に裏付けられた実践」というように、看護の理論と実践が融合した質の高い看護サービスが求められています。

この科目では、看護の理論的側面に焦点をあてて、看護の基盤となる考え方を学びます。看護の理論が誕生した背景、看護が学問として発展してきた経緯、現代の代表的な看護理論家とその主張、理論を看護実践に適用する方法について、講義と演習を通して学習します。

【他科目との関連】

この科目で学んだ看護の基盤となる考え方（理論）は、看護過程論の学習、基礎看護学実習Ⅱの看護実践と関連します。

G I O（一般目標）

看護理論の意義を理解し、代表的な看護理論の概要と看護実践への活用方法を学ぶ。

S B O（行動目標）

1. 理論の定義と目的、理論開発のプロセス、看護の理論と実践の関連性を説明できる。

2. 看護理論の種類、現象を説明する範囲、理論の要素となる主要概念について説明できる。

3. 代表的な看護理論の概要について説明することができる。

1) 著者の背景と著書の内容構成を説明できる。

2) 人間・健康・環境（社会）をどのようにとらえているか説明できる。

3) 看護の目的・方法、看護師をどのようにとらえているか説明できる。

4) 看護理論が看護がどのように実践されるか事例を用いて説明できる。

4. 複数の看護理論の特徴と限界を比較して考えることができる。

5. グループワークで自分が学習したことや自分の考えを発言し、他の人と意見交換することによって学習を深めることができる。

成績評価の方法

授業・グループワークへの参加度、レポート、筆記試験により評価する。

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

教科書

1) V. ヘンダーソン著、湯楨ます他訳：看護の基本となるもの、日本看護協会出版会

2) 筒井真優美編：看護理論、看護理論20の理解と実践への応用、南江堂、2008

3) ナイチンゲール、湯楨ます他訳、看護覚え書き、現代社

参考書

1) アン・マリナー・トメイ著、都留伸子監訳：看護理論家とその業績、医学書院

2) H.E. ペプロウ、稲田八重子他訳：人間関係の看護論、医学書院

3) D.E. オレム著、小野寺杜紀訳：オレム看護論、医学書院

4) S.C. ロイ著、松木光子監訳：ロイ適応看護モデル序説、へるす出版

5) ワトソン著、稲岡文昭他訳：ワトソン看護論、医学書院

授業計画

回	月日	項目	内容	担当
1	4月8日	理論とは	ガイダンス 看護理論とは	福岡
2	4月15日	看護理論が 発展した背景	理論の変遷 社会情勢と理論の出現課程 看護理論の分類（範囲） 理論の分類と代表的な理論家の理論について	福岡
3	4/19 (金) 5・6・7・8	代表的な 看護理論	ヘンダーソン…基本的欲求と基本的看護	宮本
4			1) 看護の対象をどのようにとらえるか 2) 看護の目的をどうとらえるか、優れたナースとはどのような人か	
5	4/26 (金) 5・6・7・8	代表的な 看護理論	3) 基本的看護の構成要素とケアにあたって考慮すべき条件、即ち、対象者の何を観察・情報収集するのか 4) この理論は看護実践の場でどのように展開されるか ヘンダーソンの理論を用いた看護展開の実際	宮本
6				
7	5月13日		ナイチンゲール…環境と管理1 序章 (グループワークと討議)	福岡
8	5月20日		ナイチンゲール…環境と管理2 (グループワークと討議)	福岡
9	5月27日		ナイチンゲール…環境と管理3 (グループワークと討議)	福岡
10	6月3日		ペプロウ…対人関係の看護論	福岡
11	6月10日		オレム…セルフケアの援助	福岡
12	6月17日		ロイ…適応の援助	福岡
13	6月24日		ケアリング (代表的な理論家とケアリングの理論的背景)	福岡
14	7月1日		中範囲理論と看護実践への活用 看護理論の実践への適用とまとめ	福岡
備 考 4月8日には教科書必携、辞書（電子辞書でも可）も持参のこと。 4月19日にヘンダーソン著『看護の基本となるもの』を使用しますので、持参して下さい。（課題提示） 5月13日にナイチンゲール著『看護覚え書き』を使用しますので、持参してください。				

授業科目名	看護過程論演習	担当教員	講師 宮本 まゆみ 他		
開講年次及び学期	2 年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1
授業概要 看護は実践の科学である。看護実践が科学的であるとは、判断の根拠や実践の根拠が明確で理にかなっているということである。看護実践における根拠とは、その方法が科学的に検証された普遍的で一般化された知見に基づいているというだけでなく、対象者の個別の条件やニーズに対応していることを意味する。したがって科学的な看護を実践するためには、看護学独自の視点と系統的な思考過程に基づく方法論を学ぶ必要がある。 看護過程は、健康問題の解決を目標として、個別的な看護ケアを個人や集団に対して組織的・系統的・計画的に行う看護活動のプロセスであり、問題解決過程と人間関係形成過程を基盤として展開される。より現実的な学びを得るために、少人数グループで模擬患者を導入した実践的な事例展開を行い、臨地実習において応用できるようにする。					
G I O（一般目標） クライアント中心の看護，科学的根拠に基づく看護を実践するために，問題解決過程に基づいた看護過程展開の方法論を理解し，実践への見通しを持つ。					
S B O（行動目標） 1. 看護過程の構造および，各段階の機能について理解する。 2. 看護実践において看護モデルを用いる意義と必要性を理解する。 3. 看護モデルを模倣することにより系統的なアセスメントの方法を理解する。 4. 情報と情報のつながりを整理して看護の必要性を焦点化するプロセスと方法を理解する。 5. 科学的知識とアセスメントに基づいて，個別的で具体的な看護計画を立案する方法を理解する。 6. 対象者の反応から看護実践の効果を評価する意義を理解する。 7. 看護過程の展開における対象者との協働の意義を理解する。					
成績評価の方法 グループワークへの参加度，提出レポートの到達度，筆記試験等で総合的に評価する。					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 「教科書」 1 秋葉公子 他：看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 [第4版]，ヌーヴェルヒロカワ，2013 「参考書」 1 黒田裕子：しっかり身につく看護過程（第1版），照林社，2012 2 任 和子：実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド（第2版），照林社，2015 3 古橋洋子：はじめて学ぶ看護過程，医学書院，2017					

授業計画

回	日・時		授業内容	備考	方法	担当
1	4/12 5・6	導入	看護過程の概要, 展開方法	講義：看護過程とは、インタビューによる 情報収集 グループ(10G)・事例・記録用紙配布 宿題：事例の情報の整理・情報収集の準備・ 病態関連図作成および観察項目 目列举	講義	宮本・坂根
2	5/10 5・6	事例展開	ヘンダーソン理論の適用 情報収集・アセスメント の準備	講義：ヘンダーソン理論の看護過程への適用 宿題：データベースの整理・インタビュー の準備（情報収集計画用紙完成）	講義 GW	宮本・福岡 坂根・他
3	5/17 5・6		インタビューによる情報収集① フェイスシート・データ ベース補完	30分/1G×2クール インタビューのフィードバック 宿題：インタビューの再準備	実践 GW	宮本・津本 福岡・坂根 他
4	5/24		インタビューによる 情報収集② アセスメント	インタビュー内容についてフィードバック データベース用紙によるアセスメントの実施 宿題：データベースの完成	実践	宮本・津本 福岡・坂根 他
5	5・6 7・8		対象者の全体像の把握	講義：全体像把握と関連図について 演習：簡単な事例による関連図作成 宿題：関連図の作成	講義 GW	
6	5/31		看護問題の抽出	講義：関連図と看護問題および介入 宿題：看護問題に対するケア	講義 GW	宮本・津本 福岡・坂根 他
7	5・6 7・8		看護問題抽出までの 学びのまとめ(発表準備)	発表内容 ①関連図(抽出された看護問題) ②問題抽出までの学び 発表資料提出(A3：関連図1枚, A5：学び1枚)	GW	
8	6/7	宙窓	看護問題抽出までの過程 に関する学びの共有	質疑応答込みで7分/G×10G 全体討議およびコメント	発表	宮本・津本 福岡・坂根 他
9	5・6 7・8		看護計画の立案, 評価と記録	講義：看護計画の立案 実践・評価と実施記録（SOAP） 宿題：計画立案	講義 GW	
10	6/14 5・6	事例展開	模擬患者へフィードバック 看護計画の修正 看護実践の準備	計画内容の確認および修正 具体的手順作成 宿題：実践の具体的な計画 看護実践の準備 実習室や物品を使用しながら最終確認	GW	宮本・津本 福岡・坂根 他
11	6/21		模擬患者への看護実践 実践の評価と記録	30分/1G×2クール 実践内容のフィードバック・実施記録	実践	宮本・津本 福岡・坂根 他
12	5・6 7・8		全体カンファレンス の準備（発表準備）	発表内容 ①実践内容（看護問題・アウトカム・計画・実施結果・評価）②本演習における学び 発表資料提出（A4：1枚）	GW	
13	7/5	まとめ	全体カンファレンス, 学びの整理	質疑応答込みで7分/G×10G 全体討議およびコメント	発表	宮本・津本 福岡・坂根 他
14	5・6 7・8		看護展開の振り返り, 要約	講義：看護サマリの書き方・基礎実習Ⅱに向けて （事例の展開と技術チェック用紙） 提出：記録用紙一式	講義	
	7/19		筆記テスト	質疑応答込みで7分/G×10G＝70分 全体討議およびコメント 20分	発表	宮本・坂根

備 考

※4/19, 4/26は看護理論 (ヘンダーソン) の授業を行う。

※6/28は休講とする。

※模擬患者への実践の回 (3・4・11回) は第3実習室で行う。ユニフォーム着用のこと。

授業科目名	日常生活援助技術演習		担当教員	准教授 福間 美紀, 講師 宮本 まゆみ		
開講年次及び学期	2年 前期		必修・選択の別	必修		
開講形態	演習		時間数	60	単位数	2
授業概要 この科目では、既習の科目の知識を基に、人の生活の場全般における健康的な生活や疾病からの回復に必要な日常生活の援助をするために必要な看護技術について学習する。 人の環境・活動・食・排泄・清潔を中心とした日常生活に関わる看護援助技術の基本的な方法と人を対象とした看護技術の科学的根拠について学習する。 専門職として、人に看護技術を実践するためには、看護の必要性、目的・目標・アウトカム（成果・効果）を明確にし、適切な看護技術の方法を選択、実践し、その効果を評価する論理的思考が必要となる。 さらに科学的根拠に基づいた看護技術を習得するとともに、論理的思考に基づいて、状況に応じた看護技術の実践を重要な課題としている。そのため、事前の課題学習や事後学習など、主体的に学習することで、技術を確実に身につけていくことが必要となる。						
G I O（一般目標） I 日常生活を整えるための基本的な生活援助技術の方法を習得し、その科学的根拠を理解し、アセスメントに基づいて対象者に合わせて援助する方法を考察し、実践・評価する。						
S B O（行動目標） 1. 援助の対象となる人に合わせた日常生活の支援の必要性を理解する。 2. 日常生活援助技術の原理・原則の基盤となる科学的根拠を理解する。 3. 各日常生活援助技術について、科学的根拠に基づく基本的な方法を習得する。 4. アセスメントに基づいて対象となる人に合わせた生活援助の方法を組み立て、実践できる。 5. 対象者に実践した日常生活援助の効果を評価する。 6. 基礎看護技術を習得するための学習方法を身につける。						
成績の評価方法 ※実技試験においては、「看護学実習 web」→「演習メニュー」の当該技術の自己評価を入力すること。この入力の確認をもって受験資格とする。 ※筆記試験60%・実技試験40%の配分で評価する。 ※筆記試験、実技試験の再試験は行わないので十分準備し、受験すること。						

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

教科書：1 任 和子編集：根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術医学書院

参考書：第3実習室の書棚に関連する参考書を多数整備してあるので事前・事後学習に活用すること

1 吉田みつ子他監修：写真でわかる基礎看護技術 基礎的な看護技術を中心に！ インターメディカ

2 藤崎 郁・任 和子編：系統看護学講座 専門分野I基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ第15版、医学書院

D V D：第3実習室の書棚に関連するDVDを多数整備してあるので事前・事後学習に活用すること

履修上の注意点

演習では、学生がペアになり、学生間でお互いの身体を使用して演習を行う。

本科目はアクティブラーニング（反転授業形態）で学習します。

反転授業とは、反転授業：講義を事前学習として、演習室でその学習内容を踏まえて演習を行う授業のこと

(1) 事前学習について

予定単元の技術に必要な関連科目（形態と機能、フィジカルアセスメント技術）を学修して参加する

演習前にナースングスキル（eラーニング）、N502のDVD、教科書の該当箇所および動画を確認し、適切な手順を理解する

(2) 小テスト

共同学習の後、小テスト（筆記と実技）で事前学習の成果を確認する

(3) 演習（応用問題）

学習した基本的な手順を応用し、ある状況にああせた方法を考え、実施する

(4) 演習時の服装・授業態度

爪は短く切り、髪は実習と同様にまとめる

服装は原則として、ジャージ等（体育の時間の服装）とする

白い靴下を着用の上、ナースシューズを使用する。

他人に迷惑がかかる行為（私語、過度な化粧、携帯電話の操作等）があった場合には退室を求めることもある

* 講義時間外の練習日を活用し、確実に習得できるよう繰り返し練習すること。

授業計画

回数	月日		テーマ	内 容	方法	担当		
1	4/10	5・6	看護技術の概念 看護技術の学び方	日常生活の援助とは、学習方法	講義	福間	津本・宮本 坂根・他	
2		7・8		看護技術の基礎となる9つの視点、物品 の取り扱い				
3	4/17	5・6	感染予防 活動と休息	<u>手指衛生（復習）</u> 、 <u>標準防護具（PPE）の使用</u>	講義 演習	福間	津本・宮本 坂根・他	
4		7・8						
5	4/24	5・6	環境調整の技術	<u>環境調整</u>	講義 演習	坂根	福間・宮本 他	
6		7・8						
7	5/8	5・6	活動の技術	<u>体位変換・ポジショニング</u> <u>ベッド上での移動</u>	講義 演習	福間	津本・宮本 坂根・他	
8		7・8						
9		9・10						
10	5/15	5・6	環境調整の技術 安全管理の技術	<u>ベッドメイキング</u>	講義 演習	福間	津本・宮本 坂根・他	
11		7・8						
12	5/22	5・6	活動の技術	<u>車いす移動・ストレッチャー移動</u>	講義 演習	福間	津本・宮本 坂根・他	
13		7・8						
	5/29	5・6	日常生活の援助技術：車いす移動			実技 試験	福間	津本・宮本 坂根・他
		7・8						
14	6/5	5・6	活動の援助 清潔の援助	モーニングケア・イブニングケア・口腔ケア	講義 演習	福間	津本・宮本 坂根・他	
15		7・8						
16	6/12	5・6	清潔の援助技術	<u>温タオルを使った全身清拭・</u> <u>石鹸を使った全身清拭・</u> <u>寝衣交換</u>	講義 演習	宮本	福間・津本 坂根・他	
17		7・8						
18		9・10						
19	6/19	5・6	清潔の援助技術	<u>洗髪（ケリーパッド）</u> <u>洗髪（洗髪車）</u>	講義 演習	宮本	福間・津本 坂根・他	
20		7・8						
21		9・10						
22	6/26	5・6	休息の援助 安楽促進の技術	リラクゼーション・睡眠 電法・ <u>マッサージ・指圧・足浴</u>	講義 演習	宮本	津本・福間 坂根・他	
23		7・8						
24	7/3	5・6	排泄の援助技術	<u>尿器、便器の使い方</u> <u>オムツ交換、陰部洗浄</u>	講義 演習	坂根	津本・福間 宮本・他	
25		7・8						
26		9・10						
27	7/10	5・6	食の援助技術	<u>食事介助</u>	講義 演習	宮本	福間・津本 坂根・他	
28		7・8						
	7/17	5・6	日常生活の援助技術：全身清拭			実技 試験	福間	津本・宮本 坂根・他
		7・8						
		9・10						

各单元ごとに筆記テストと実技チェックを行います（2組にわけ入れ替え制）
また授業時間中は、状況に合わせた方法を考える演習を行います

授業科目名	診療時援助技術演習	担当教員	講師 宮本 まゆみ 他		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義と演習	時間数	30	単位数	1
授業概要 医療を必要とする人の生活を支える看護ケアは、病気の治癒の促進や安寧を目的として行われるが、対象者の身体に何らかの侵襲を伴って実施されるため大変リスクの高い行為となる。 将来、これらのケア技術を安全かつ安楽に的確に実施できるよう、また、多様な場面で活用できるよう、“覚える”学習ではなく、科学的根拠に基づいた原理・原則を主体的に学び、状況に応じた方法を考えることに重きを置いた学習を行う。					
G I O（一般目標） 事前の課題学習→演習→復習・練習の繰り返しにより、科学的根拠に基づく援助技術の基本的方法を模倣レベルで習得し、対象者の状態と取り巻く状況に対応した個別の援助方法を導くための方法を理解する。それにより、医療・看護ケアに潜在するリスクを予見し、回避するためのリスク感性を育む。					
S B O（行動目標） 1. 基本的看護技術の原理・原則の基盤となる科学的根拠を理解する。 2. 各看護技術について、科学的根拠に基づく基本的な方法を模倣できる。 3. 援助技術の原理・原則を、〔ボディメカニクス〕〔作業域と行動の組み立て〕〔清潔と不潔〕〔経済性〕〔反応の観察と対応〕〔個別性〕〔対象者との協働〕の観点から効果的に活用するための方法を考察できる。 4. アセスメントに基づいて援助方法を導く、論理的思考と実践の融合プロセスを習慣化する。 5. 看護行為の安全に対する看護者の責務について考察する。 ※個々の演習課題ごとに、下位レベルの行動目標を別途提示する。					
成績の評価方法 ※ 筆記試験80%・実技試験20%の配分で評価する。 ※ 再試験は行わない。					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教科書：任 和子編集：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術，医学書院，2014 （日常生活援助技術演習で購入したもの） 参考書： 1 吉田みつ子・本庄恵子監修：写真で分かる基礎看護技術アドバンス，インターメディカ，2016 2 本庄恵子・吉田みつ子監修：写真で分かる臨床看護技術①アドバンス，インターメディカ，2016 3 本庄恵子・吉田みつ子監修：写真で分かる臨床看護技術②アドバンス，インターメディカ，2016 4 藤崎 郁・任 和子編集：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔3〕基礎看護学技術Ⅱ，第15版，医学書院，2012 5 村中陽子・玉木ミヨ子・川西千恵美：看護ケアの根拠と技術 第2版－学ぶ・試す・調べる，医師薬出版株式会社，2013 ※ N501 演習室の書棚に関連する参考書，DVDを多数整備してあるので事前・事後学習に活用すること					

授業計画

回数	月日	時限	内 容	方法	責任者	ファシリテーター
1	9/27	5・6	オリエンテーション・物品チェック ※ユニフォームに着替えて第3実習室に集合	講義	宮本	福間・坂根 他
2		7・8	感染予防の技術 ・ガウンテクニック法, 滅菌物の取り扱いと清潔操作	講義・デモ 演習	坂根	福間・宮本 他
3	10/4	5・6	創傷管理技術 ・創処置, 皮膚保護剤の活用, 包帯法	講義・デモ 演習	宮本	福間・坂根 他
4		7・8	リスクの高い患者の食のアセスメントと援助 ・経管栄養			
5	10/11	5・6	リスクの高い患者の排泄のアセスメントと援助 ・グリセリン浣腸	講義・デモ 演習	福間	宮本・坂根 他
6		7・8	・摘便 ・導尿 (一時導尿・膀胱内留置カテーテルの管理)			
7	10/25	5・6	呼吸・循環状態のアセスメントと援助 ・酸素療法	講義・デモ 演習	坂根	福間・宮本 他
8		7・8	・吸引・吸入			
9	11/1	5・6	検査に伴う援助技術 ・検査の種類と適応, 禁忌	講義・デモ 演習	宮本	福間・坂根 他
10		7・8	・静脈血採血			
11	11/8	5・6	与薬の援助技術 ・与薬の種類とリスク, 薬剤の管理	講義・デモ 演習	宮本	福間・坂根 他
12		7・8	・皮下注射・筋肉注射			
13		9・10	・点滴静脈内注射の管理			
14	11/15	5・6	医療事故の防止とリスクマネジメント	講義	宮本	坂根
		7・8	実技試験に向けての課題提示			
	11/22	5・6	自主練習			
		7・8				
	11/29	5・6	自主練習			
		7・8				
	12/6	5・6	自主練習			
		7・8				
	12/13	5・6	自主練習			
		7・8				
	12/20	5・6	実技試験	実技試験	宮本	津本・福間 坂根・他
		7・8				
		9・10				
			筆記試験	筆記試験	宮本	坂根

授業科目名	成人看護学概論	担当教員	教授 若崎 淳子, 助教 井上 和子・佐藤 美紀子			
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修			
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2	
授業概要						
ライフサイクルにおける成人期にある人の特徴を理解し、成人を取り巻く生活並びに今を生きる時代や社会を踏まえた健康問題とその対応について学習する。また、保健医療の動向に注目する。そして、個人や家族及び社会におけるさまざまな集団を看護の対象として、健康レベルに応じた保健活動や看護の果たす役割、成人看護の基盤となる考え方や成人看護に用いる基礎理論を学ぶ。						
G I O（一般目標）						
1. ライフサイクルにおける成人期にある人の特徴を理解し、成人を取り巻く生活並びに今を生きる時代や社会を踏まえた健康問題とその対応について学習する。						
2. 保健医療の動向を理解し、個人や家族及び社会におけるさまざまな集団を看護の対象として、健康レベルに応じた保健活動や看護の果たす役割、成人看護の基盤となる考え方や成人看護に用いる基礎理論を学ぶ。						
S B O（行動目標）						
1. 成人期にある人をライフサイクルの視点から理解し、説明できる。						
2. 成人各期の身体機能と心理・社会的特徴を理解し、説明できる。						
3. 成人看護実践での活用に向けて、成人期の発達課題と関連する理論を解釈できる。						
4. データを概観し、成人保健の動向を具体的に述べることができる。						
5. 健康レベルに応じた看護の特徴を説明できる。						
6. 成人看護における倫理的諸問題とその解決過程を理解し、看護の役割と支援について検討・討議できる。						
7. 成人期の健康問題を理解し、健康支援について検討・討議できる。						
8. 実践での活用に向けて、成人看護に用いる基礎理論を解釈できる。						
成績評価の方法						
[定期試験] 60%（授業内容全般にわたる理解を記述式の試験により確認する。）						
※ただし、36点（6割）以上の得点を求める。						
[レポート] 30%（成人保健と成人の健康問題に関する課題学習を課す。その展開状況により評価する。）						
[受講態度] 10%（毎回のリアクションペーパーの記述より、理解の内容を確認する。）						
※出席状況は毎時のリアクションペーパーにより確認する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
[教科書]						
大西和子・岡部聡子編「成人看護学概論」（ヌーヴェルヒロカワ）（最新版）						
[参考書]						
「厚生指針 国民衛生の動向」（（財）厚生統計協会）（最新版）						
その他：必要に応じて授業の中で紹介する。						

授業計画

回	授業日	時間	内 容	学習形態	担当
1	9月30日 (月)	13:00～14:10	ガイダンス 成人期にある人の理解：(1) ライフサイクルと成人期 成人期にある人の理解：(2) 成人各期の身体機能と心理・社会的特徴	講義	若崎
2	10月7日 (月)	13:00～14:10	成人期にある人の理解：(3) 成人期の発達課題と関連する理論	講義	若崎
3	10月15日 (火)	13:00～14:10	成人保健の動向	講義	井上 佐藤
4	10月28日 (月)	13:00～14:10	健康レベルに応じた成人期の看護 その1	講義	若崎
5	11月11日 (月)	13:00～14:10	健康レベルに応じた成人期の看護 その2	講義	若崎
6	11月18日 (月)	13:00～14:10	成人看護における倫理と看護者の役割 (1) 看護者が直面する倫理的問題と倫理的意思決定の基準	講義	若崎
7	11月25日 (月)	13:00～14:10	成人看護における倫理と看護者の役割 (2) 倫理的問題の解決過程、事例検討	講義 グループ 討議	若崎
8	12月2日 (月)	13:00～14:10	成人の生活と健康問題： 生活習慣病・悪性新生物・自殺・過労死／突然死・職業性疾病等	講義	井上 佐藤
9	12月9日 (月)	13:00～14:10	成人の生活と健康問題・健康支援	グループ ワーク	若崎
10	12月16日 (月)	13:00～14:10	成人の生活と健康支援	グループ 発表	若崎 井上 佐藤
11	12月16日 (月)	16:50～18:30	成人の生活と健康支援	グループ 発表	若崎 井上 佐藤
12	1月6日 (月)	13:00～14:10	成人看護に用いる理論： ストレス・コーピング、危機理論、悲嘆	講義	若崎
13	1月20日 (月)	13:00～14:10	成人看護に用いる理論： 生体侵襲理論、セルフケア理論、アンドラゴジー	講義	若崎
14	1月27日 (月)	13:00～14:10	成人看護に用いる理論： 自己効力理論、アドヒアランス等	講義	若崎
備 考 教室：N21					

授業科目名	老年看護学概論	担当教員	教授 原 祥子			
開講年次及び学期	2 年 後期	必修・選択の別	必修			
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2	
授業概要 高齢者の身体機能の特性や精神・社会生活を理解し、その健康とQOLを高める援助，あるいは穏やかな最期を迎えるための援助の基礎となる理論的知識について教授する。						
G I O（一般目標） 「老い」の意味を生涯発達の観点からとらえ直し，エイジングの多様性や個別性および老年看護の意義について考察する。個々の高齢者のもつパワーを洞察する視点を学習し，高齢者の健康生活を支える基盤である保健医療福祉制度について概括的に理解することを通して，老年期に潤いのある豊かな暮らしをもたらす支援のあり方を思考する。						
S B O（行動目標） 1. 老年看護の意義について説明できる。 2. 生涯発達の観点からエイジングの多様性・個別性を理解し，老年期の発達課題について説明できる。 3. 高齢者の健康問題について説明できる。 4. 高齢者の家族関係や社会参加の特徴を理解する。 5. 高齢者保健・医療・福祉制度に関する変遷と今後の課題について概括的に理解する。 6. 高齢社会における権利擁護について問題意識をもち，主体的に考えることができる。 7. 高齢者ケアに必要とされる各専門職の役割とチームアプローチの方法を理解する。						
成績評価の方法 授業への参加状況（出席カードの自由記載欄を含む），授業に関連したレポート課題により，総合的に評価する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 【教科書】 正木治恵，真田弘美編：老年看護学概論，南江堂，2016 【参考書・視聴覚教材等】 授業時に提示する。						

授業計画

回	テーマ	授業内容	担当
1	I. 高齢社会と老年看護学	1. 高齢社会とは	原
2	I. 高齢社会と老年看護学	2. 日本における老年看護の成り立ち	〃
3	II. 老化の概念	1. 長寿とライフサイクルの変化 2. 老化・加齢（エイジング）と老いの自覚	〃
4	II. 老化の概念	3. 生涯発達と老年期の発達課題 4. 老年期における適応とサクセスフルエイジング	〃
5	III. 高齢者の健康問題と看護	1. 老化と老年病	〃
6	III. 高齢者の健康問題と看護	2. 老年症候群	〃
7	III. 高齢者の健康問題と看護	3. 健康長寿とライフスタイル	〃
8	III. 高齢者の健康問題と看護	4. 高齢者看護における看護の視点	〃
9	IV. 老年期の家族関係と社会生活	1. 高齢者と家族 2. 老年期の対人関係と社会参加	〃
10	V. 高齢者保健・医療・福祉制度の動向	1. 老人医療・保健・福祉制度の変遷 2. 最近の医療保健改革の動向と老年看護	〃
11	VI. 高齢社会における権利擁護	1. 高齢者への差別と権利擁護（アドボカシー） 2. 高齢者虐待	〃
12	VI. 高齢社会における権利擁護	3. 身体拘束をめぐる倫理的課題 4. 介護負担にみるジェンダーの問題	〃
13	VII. 老いと死	1. 多死社会の到来 2. 高齢者の死因と看取りの場 3. 終末期を生きるとは	〃
14	VIII. 老年看護の活動の場	1. 介護保険施設における看護の機能と役割 3. 地域包括ケアシステムと老年看護	〃
備 考 21 世紀の超高齢社会における看護の機能と役割に期待されるものとして、「老年看護」は大きな位置を占めていきます。そのため「老年看護」の質的評価が保健看護活動全体の質を決定する大きな要因になるとも言えます。このような背景を踏まえて、問題意識をもって積極的に学習してほしいと思います。			

授業科目名	小児看護学概論		担当教員	准教授 秋鹿 都子		
開講年次及び学期	2 年 後期		必修・選択の別	必修		
開講形態	講義		時間数	30	単位数	2
授業概要 子どもと家族を取り巻く環境を理解し，子どもの成長発達の概念，健全な成長発達を促進するための支援と健康増進に向けた支援について学ぶ。						
G I O（一般目標） 子どもの成長発達と家族の発達を踏まえて小児看護の意義を理解し，子どもと家族に対する支援について考えることができる。						
S B O（行動目標） 1．小児看護の対象と看護の役割について説明できる。 2．乳児期から思春期までの子どもの身体・心理・社会的成長発達について説明できる。 3．子どもの健全な成長発達を促進するための支援について考えることができる。 4．子どもの健康増進に向けた支援について考えることができる。 5．子どもと家族を取り巻く社会制度について説明できる。						
成績評価の方法 試験，授業への参加状況により総合的に評価する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 ＜教科書＞ 奈良間美保 他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 1「小児看護学概論・小児臨床看護総論」，医学書院，2015. ＜参考書＞ 1．中野綾美（編）：ナーシンググラフィカ小児看護学①「小児の発達と看護」，メディカ出版，2015. 2．鈴木和子 他：家族看護学 理論と実践 第4版，日本看護協会出版会，2012.						

授業計画

回	月日	テーマ	授業内容	担当
1	10/2	小児看護の概念・倫理	小児看護とは、小児看護の変遷と課題、子どもの権利	秋鹿
2	10/9	子どもを取り巻く社会・環境	子どもを中心とした人口動態、家庭・社会環境の変化、子どもの貧困、児童虐待	秋鹿
3	10/16	子ども・家族の発達	子ども養育する家族の特徴 発達理論	秋鹿
4	10/23	子どもの成長・発達②	乳児期の子どもの特徴：身体機能、情緒・社会的機能と養育、愛着理論	秋鹿
5	10/30	子どもの成長・発達③	幼児期の子どもの特徴：身体機能、知的・情緒的・社会的機能と養育	秋鹿
6	11/6	子どもの成長・発達④	学童期の子どもの特徴：身体機能、知的・情緒的・社会的機能と養育	秋鹿
7	11/13	子どもの成長・発達⑤	思春期の子どもの特徴：身体機能、知的・情緒的・社会的機能と養育	秋鹿
8	11/20	病気をもつ子どもと家族の看護	病気が子どもとその家族に及ぼす影響と看護	秋鹿
9	11/27	入院・外来・在宅における子どもの看護	療養環境が子どもと家族におよぼす影響と看護	秋鹿
10	12/4	障がいをもつ子どもと家族の看護	障がいのとらえ方、発達障がいの子どものとその家族の特徴と看護	秋鹿
11	12/11	病気の経過と看護①	周手術期の子どもと家族の特徴と看護	秋鹿
12	12/18	病気の経過と看護②	急性期の子どもと家族の特徴と看護	秋鹿
13	1/8	病気の経過と看護③	慢性期の子どもと家族の特徴と看護	秋鹿
14	1/15	病気の経過と看護④	終末期の子どもと家族の特徴と看護	秋鹿
15		試験		
備 考				

授業科目名	母性看護学概論		担当教員	准教授 橋本 美幸		
開講年次及び学期	2 年 後期		必修・選択の別	必修		
開講形態	講義		時間数	28	単位数	2
授業概要						
性と生殖の視点から女性と家族の健康を考え、 ウィメンズヘルスについての理解を深める。胎児期から老年期までライフサイクル各期の特性と健康課題について理解し、 母子およびその家族を対象とした援助に必要な知識と理論の基礎を学ぶ。 また、女性と家族を取り巻く国内外の社会的・環境的問題について学び、リプロダクティブ・ヘルス／ライツについて考える。						
G I O（一般目標）						
母性や父性の概念および特性および生殖の意義を理解し、 母性看護の役割を学ぶ。 女性をライフサイクルの視点で捉え、 各発達段階の特徴、 健康上の問題や課題への理解を深める。 女性の健康を保持・増進するための基礎知識を習得し、 それを支援するための家族、 地域社会、 国などそれぞれにおける保健システムについて学び、 ウィメンズヘルスを促進するための看護の役割について学ぶ。						
S B O（行動目標）						
1 母性看護の意義と役割が説明できる。 2 女性の健康に関する基礎的知識を習得する。 3 女性および家族を取り巻く環境および保健システムを見据えた総合的なケアが理解できる。 4 性と生殖の観点から、 社会制度や社会意識が及ぼす影響やそこで生じる葛藤などを含めて総合的に女性の健康を考察できる。 5 生命の尊厳、 多様化する性意識への理解を深める。 6 自らの性に関する自己概念を発達させる。						
成績評価の方法						
筆記試験 80% 演習への参加度・発表 20%						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
教科書「母性看護学概論」医学書院 参考書「国民衛生の動向」厚生統計協会編 「わが国の母子保健」財団法人 母子保健研究会編						

授業計画

回	月日	テーマ	授業内容	担当
1	9月26日	母性看護学とは	母性看護学の対象と目標	橋本
2	10月3日	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状	母子保健統計 母性看護に関する組織・法律，施策	橋本
3	10月10日	母性看護の対象理解とライフステージ各期における看護	【演習】 ライフサイクル各期における男女の心身の特徴と相違 ライフサイクル各期の発達課題・健康課題 補足講義	橋本
4	10月24日			橋本
5	10月31日			橋本
6	11月7日	リプロダクティブヘルスケア1	セクシャリティ，性教育，喫煙	橋本
7	11月14日	リプロダクティブヘルスケア2	児童虐待，DV，自立支援，貧困	橋本
8	11月21日	リプロダクティブヘルスケア3	生命倫理，生殖医療，不妊，遺伝看護，カウンセリング，出生前診断，自己決定支援	橋本
9	12月5日			橋本
10	12月12日	リプロダクティブヘルスケア4	性感染症，避妊，人工妊娠中絶，家族計画，コンドーム演習	橋本
11	12月19日	リプロダクティブヘルスケア4	国際化社会と母性看護，在日外国人の母性看護	橋本
12	1月9日	ヘルスプロモーション1	ヘルスプロモーション演習	橋本
13	1月16日			橋本
14	1月23日	ヘルスプロモーション2	母性看護に必要な看護技術	橋本
15		試験		橋本
備 考				

授業科目名	精神看護学概論		担当教員	講師 瀧尻 明子		
開講年次及び学期	2 年 後期		必修・選択の別	必修		
開講形態	講義		時間数	30	単位数	2
授業概要						
この科目では、精神看護の対象と目的・機能、精神の健康と不健康、正常と異常の概念、心の構造・機能、ライフサイクルに沿った発達段階の特徴や課題とメンタルヘルスとの関係、自我の防衛機制について学ぶ。また、社会情勢の変化がメンタルヘルスに及ぼす影響について理解する。次いで、精神保健・医療・看護の歴史的変遷について触れ、現在の精神保健福祉法などの関連法規成立の背景や行政の動き等についてもふれ、精神障がいをもつ人を取り巻く社会的環境や人権擁護、倫理について考える。さらに精神看護の対象となる人々の心理社会的特性をふまえた支援のあり方や関係職種、その連携について概説する。						
G I O（一般目標）						
心の健康を維持するための援助および精神障がいをもつ人々それぞれに応じた看護を行うために、ライフサイクルや人々の生活の場、人々を取り巻く環境の多様性を理解する。 心の構造と機能、精神医療の歴史や法律・制度について学び、精神保健活動における看護職の果たす役割と機能について考えを深める事ができる。						
S B O（行動目標）						
1. 精神看護の対象・目的・機能について説明できる。 2. 心の構造や機能、心身の関連、健康－不健康の概念について説明できる。 3. ライフサイクルからみた各々の発達課題における心の発達と危機について説明できる。 4. 人々の生活の場で生じやすい心の問題を挙げ、その援助について考える事ができる。 5. 病を体験する人々の心の特徴について理解し、さまざまな障がいをもって生活する人々の生活の困難さについて考える事ができる。 6. 精神保健医療・看護・福祉の歴史的変遷と現状について説明できる。						
成績評価の方法						
出席および授業への参加度、筆記試験、レポートにより判断します。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
教科書						
武井麻子：系統看護学講座 精神看護の基礎 精神看護学 [1], 医学書院						
系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学 [2], 医学書院						
参考書						
野村総一郎：標準精神医学 第6版 医学書院						
武井麻子：精神看護学ノート第2版 医学書院						
その他、授業の中で適宜紹介する。						

授業計画

回	月 / 日	テーマ	授業内容	担当者
1	9/26	精神看護の概念	精神看護とは，精神看護と精神科看護，その役割と機能について	瀧尻
2	10/3	精神看護学の理論的枠組み	心の機能・構造，心の健康と防衛機制について	瀧尻
3	10/10	個人と集団（1）	個人と集団：最も身近な集団家族	瀧尻
4	10/24	個人と集団（2）	個人と集団：グループダイナミクス（集団力動）	瀧尻
5	10/31	ライフサイクルと精神保健（1）	発達に関する理論 胎児期，乳児期，幼児期の心の発達	瀧尻
6	11/7	ライフサイクルと精神保健（2）	学童期，青年期，壮年期，老年期の心の発達	瀧尻
7	11/14	生きることとメンタルヘルス（1）	職場・地域・学校・家庭における心の健康 人々の多様性を考える	瀧尻
8	11/21	生きることとメンタルヘルス（2）	ストレスと危機 クリティカルケア及び災害時の心のケア	瀧尻
9	12/5	生きることとメンタルヘルス（3）	うつ病と自殺の問題	瀧尻
10	12/12	治療的人間関係（1）	患者－看護師関係，治療的・非治療的技法	瀧尻
11	12/19	治療的人間関係（2）	看護における感情と看護師のメンタルヘルス	瀧尻
12	1/9	精神医療と看護の歴史と現状	欧米及びわが国における精神保健医療の歴史と現状	瀧尻
13	1/16	精神保健福祉活動の実際（1）	精神保健福祉に関する法律	瀧尻
14	1/23	精神保健福祉活動の実際（2）	様々な職種とその役割，看護との連携のあり方 リエゾン精神看護	瀧尻

備 考

木曜日 10:25 ～ 12:05 N21

授業科目名	地域看護学概論		担当教員	教授 小笹 美子		
開講年次及び学期	2 年 前期		必修・選択の別	必修		
開講形態	講義		時間数	30	単位数	2
授業概要						
個人・家族や集団・組織を含む地域を基盤とし、人々の健康な生活を予防的視点で支援する看護活動の基礎的知識を教授する。地域看護学の対象と領域の構成から公衆衛生看護の位置づけを解説するとともに、公衆衛生看護学が果たす機能・役割、公衆衛生看護学における理論や支援技術を伝える。						
G I O（一般目標）						
健康レベルの異なる人々に対して地域でどのような保健・医療・福祉活動が行われているかを個人、家族、グループ、地域を単位とした活動の概略を理解しその中で看護者の果たす役割を理解する。また、健康問題を解決するための法律、施策や個人家族、グループ、地域を単位とした活動の概略を理解しその中で看護師、保健師が果たす役割を理解する。						
S B O（行動目標）						
1. 保健師活動の理念、公衆衛生看護の機能・役割が理解できる。 2. 地域看護活動の歴史から地域における看護活動の場の特性と活動が理解できる。 3. 公衆衛生看護活動の理論が理解できる。 4. 公衆衛生看護活動の展開と地域診断について説明できる。 5. 公衆衛生看護における支援技術の特徴が理解できる。						
成績評価の方法						
試験、出席率、レポート、授業における発表内容 によって総合的に評価する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
【教科書】 標準保健師講座 1 地域看護学概論，医学書院，最新版 標準保健師講座 2 地域看護技術，医学書院，最新版						
【参考図書】最新 保健学講座 7 保健医療福祉行政論 メディカルフレンド社 近藤克則，健康格差社会，医学書院 国民衛生の動向 公衆衛生看護学テキスト 1 公衆衛生看護学原論，医歯薬出版 公衆衛生看護学テキスト 2 公衆衛生看護技術，医歯薬出版 公衆衛生看護学テキスト 3 公衆衛生看護活動 I，医歯薬出版						

授業計画 8:30～10:10 H31（2019）年度

回	月日	曜日	授業内容	担当
1	4月8日	月	地域で暮らす人々の生活と健康	小笹
2	4月15日	月	国・都道府県・市町村の仕組みと公衆衛生看護活動	小笹
3	4月22日	月	保健師が用いる公衆衛生看護の技術	小笹
4	5月9日	10:20～12:10 木	市町村の保健師活動	小川 理恵 (松江市)
5	5月13日	月	地域看護のキーワード	小笹
6	5月20日	月	地域アセスメントと地域の健康課題	小笹
7	5月27日	月	公衆衛生看護活動（学生の発表）①	小笹
8	6月3日	月	公衆衛生看護活動（学生の発表）②	小笹
9	6月10日	月	公衆衛生看護活動（学生の発表）③	小笹
10	6月17日	月	集団健診（乳幼児健診、特定健診）	小笹
11	6月24日	月	ヘルスプロモーション，プライマリヘルスケア	小笹
12	6月27日	10:20～12:10 木	保健所の保健師活動	内田 千寿 (出雲保健所)
13	7月1日	月	グループ，組織支援	小笹
14	月曜日授業 7月12日	金	地域看護の課題と対策	小笹
	7月22日	月	試験	小笹
備 考 *都合等で予定が変更になることがある。				

授業科目名	地域看護学活動論		担当教員	講師 榊原 文		
開講年次及び学期	2 年 後期		必修・選択の別	必修		
開講形態	演習		時間数	60	単位数	2
授業概要 地域で生活する人々を対象とした公衆衛生看護活動として、地域診断による潜在的・顕在的な健康課題の分析方法や、健康教育・家庭訪問等の地域住民への直接的な支援技術について教授する。 発達課題別・健康課題別の保健活動としては、ライフサイクルをつなぐ母子・成人・高齢者への支援や、精神・感染症・難病などの健康課題別の活動方法について演習事例を取り入れながら教授する。						
G I O（一般目標） 1. 発達課題別・健康課題別の公衆衛生看護活動を理解できる。 2. 公衆衛生看護技術の原則と理論の基礎を理解し、実践に応用できる。						
S B O（行動目標） 1. 地域集団の特性に応じた保健活動の展開方法を説明できる。 2. 発達課題別の保健活動を説明できる。 3. 異なる健康課題を持つ対象者への保健活動を説明できる。 4. 健康課題を持つ対象者への各種社会資源の活用方法を説明できる。 5. 地域診断を通じて、健康課題を導くことができる。 6. 健康教育の意義と方法を理解し、健康教育を実施できる。 7. 保健指導の基本を理解し、個別援助技術の手法を説明できる。 8. 家庭訪問の意義と一連の過程を理解し、訪問事例を展開ができる。						
成績評価の方法 定期試験 70% 演習評価（態度・意欲）・レポート 30%						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 【教科書】 荒賀直子・後閑容子編集：公衆衛生看護学. Jp, インターメディカル, 第4版 データ更新版 標準保健師講座2 公衆衛生看護技術, 医学書院, 最新版 【参考書】 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動, 医学書院, 最新版 日本看護協会監修：保健師業務要覧, 日本看護協会出版会, 最新版						

授業計画

回	月日	曜日	コマ	テーマ	授業内容	担当
1	10月1日	火	③	活動技術論（1）	地域診断	榊原
2	10月1日	火	④	活動技術論（2）	地域診断グループワーク	榊原
3	10月8日	火	③	母子保健	母子保健の動向と健康課題	榊原
4	10月8日	火	④	母子保健	乳幼児の成長発達と保健指導	榊原
5	10月29日	火	③	母子保健	健康上のリスクを持つ母子への保健指導	榊原
6	10月29日	火	④	活動技術論（3）	健康教育の展開／演習ガイダンス	榊原
7	11月5日	火	③	成人保健	成人期の保健指導の動向と健康課題	榊原
8	11月5日	火	④	成人保健	成人期の保健指導／健康づくり活動の実際	榊原
9	11月12日	火	③	感染症	感染症対策の動向と課題	榊原
10	11月12日	火	④	感染症	感染症保健指導	榊原
11	11月19日	火	③	高齢者保健	高齢者保健指導	榊原
12	11月19日	火	④	高齢者保健	高齢者保健指導	榊原
13	11月26日	火	③	活動技術論（4）	地域診断演習発表	榊原
14	11月26日	火	④	活動技術論（5）	地域診断演習発表	
15	12月3日	火	③	難病保健	難病保健指導	榊原
16	12月3日	火	④	活動技術論（6）	健康教育指導案作成のグループワーク	榊原
17	12月10日	火	③	精神保健	精神保健指導	榊原
18	12月10日	火	④	活動技術論（7）	健康相談演習	榊原
19	12月17日	火	③	活動技術論（8）	健康教育発表	榊原
20	12月17日	火	④	活動技術論（9）	健康教育発表	
21	12月17日	火	⑤	活動技術論（10）	健康教育発表	
22	12月24日	火	③	活動技術論（11）	家庭訪問による援助の展開／演習ガイダンス	榊原
23	12月24日	火	④	活動技術論（12）	家庭訪問援助展開のグループワーク	榊原
24	1月7日	火	③	産業保健	産業保健の概要	花田（嘱託講師）
25	1月7日	火	④	産業保健	産業保健指導の実際	花田（嘱託講師）
26	1月14日	火	③	活動技術論（13）	家庭訪問援助展開の発表	榊原
27	1月14日	火	④	活動技術論（14）	家庭訪問援助展開の発表	
28	1月14日	火	⑤	活動技術論（15）	家庭訪問援助展開の発表	
備 考						
10月1日、11月26日、12月17日、1月14日は第4実習室で行います。						
12月3日の4コマは、N201演習室も使用できます。						

授業科目名	基礎看護学実習Ⅱ	担当教員	教授 津本 優子 他			
開講年次及び学期	2 年 後期	必修・選択の別	必修			
開講形態	実習	時間数	90	単位数	2	
授業概要						
基礎看護学実習Ⅱは、看護過程や日常生活援助論・ヘルスアセスメント技術演習などの既習の知識や技術を活用した実践を通して、看護の基礎的な方法を学ぶ。一人の患者を受け持ち、患者の健康問題を生活行動の面からアセスメントし、対象者の全体像を把握して健康問題を解決するための看護の一連の過程を展開し、日々変化する患者のニーズに応じた看護を行う。そして、これらの体験を通して、病院の役割・機能、患者、看護師の役割を理解し、人間観、看護観の構築をめざす。						
G I O（一般目標）						
入院療養生活を送る人々の健康問題を解決するために患者の健康問題を生活行動の面からアセスメントし、看護計画を立案し、日常生活援助技術を用いて看護活動を実践・評価する一連の過程を学ぶ。看護学の知識、技術を統合し、看護論・看護理論を基盤として科学的論証に基づいて、個別的看護を実践する。						
S B O（行動目標）						
I. 看護過程の展開						
1. 看護に必要とされる観察・コミュニケーションを行うことができる						
2. 診療記録や患者自身から看護に必要な情報を取捨選択して収集し、アセスメントすることができる						
3. 患者の健康問題をあげることができ、その優先順位を判断できる						
4. 個別性を考慮した看護計画・実践ができる						
5. 実践した看護の評価を、患者の言動をもとに行うことができる						
6. 日々変化する患者のニーズに応じて計画を修正しながら実践できる						
7. 日々の看護行為の過程で収集された情報を再整理しながら全体的な看護計画の立案ができる						
II. 日常生活援助						
1. 患者の状態・状況に応じた援助の方法を選択できる						
2. 患者に起こりうるリスクを考慮し、安全を確保できる						
3. 患者の安楽に配慮した援助ができる						
4. 患者の自立に向けた援助ができる						
5. 患者を観察しながら適切な援助ができる						
6. 科学的根拠に基づいたケアの提供ができる						
III. 専門職としての基本的態度について						
1. ケア提供の際にインフォームド・コンセントを実施することができる						
2. 患者の個人情報適切に保護することができる						
3. 自分自身の健康管理ができる						
4. スタンダード・プリコーションを遵守し、感染防止行動がとれる						
5. 指導者に報告・相談を行い、支援のもとでケアが実施できる						
6. 患者、看護師、その他医療チームから学ぶ姿勢を持つことができる						
7. 看護学生としての身なり、言動、振る舞いに責任を持つことができる						
成績評価の方法						
実習の準備、参加度、態度、状況判断能力、技術レベル、実習記録で評価する						
備 考						
・ 2 年前期終了時まで履修すべき授業科目のうち、3 科目以上の未履修科目がある場合、本科目は受講できない。但し、2 年後期で履修見込みのものは除く。						
・ 実習期間中は実習病棟ごとに教員と実習指導者による指導が行われる。具体的プログラムは 1 月初旬に提示する。						
・ 以下に挙げる事前プログラムすべてに参加すること。日程は決定次第掲示する。						
① ベッドサイドにおける危険予知訓練 (11 月予定)						
② 個人情報保護に関する研修 (12 月予定)						
③ 直前オリエンテーション (2020 年 2 月 13 日 9:00～15:00)						

專 門 教 育 科 目

(助 産 科 目)

(養 護 科 目)

授業科目名	助産学概論	担当教員	准教授 橋本 美幸			
開講年次及び学期	2 年 後期	必修・選択の別	選択			
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2	
授業概要						
助産の基本概念および女性を取り巻く社会的背景を認識し，助産師の責務と心理，社会的変化の中で期待される役割と重要性について理解を深め，助産師としてのアイデンティティを獲得する。						
G I O（一般目標）						
1．助産の基本概念を理解し，助産師としてのアイデンティティ確立の動機とする。 2．助産の変遷と現状について学び，助産師の活動と役割を理解する。 3．助産学を構成する理論を理解する。 4．助産師の専門職性と業務を関連法規から理解する。 5．リプロダクティブ・ヘルス／ライツの背景と現状を理解し，今日的課題について考察する。						
S B O（行動目標）						
1．助産の基本理念を理解し，助産師の役割と活動について説明できる。 2．看護理論を活用しながら，助産ケアを実践するために必要な基礎的知識を理解する。 3．女性の健康問題および身体的・心理的・社会的特徴を理解する。 4．助産師と倫理について理解し，助産師の基本的態度を身につける。						
成績評価の方法						
筆記試験 80％ 演習，発表 20％						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
教科書 1）我部山キヨ子編：助産学講座 1 基礎助産学〔1〕 助産学概論，医学書院 2）我部山キヨ子編：助産学講座 1 基礎助産学〔2〕 母子の基礎科学，医学書院 3）我部山キヨ子編：助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健，医学書院						

授業計画

回	月日	テーマ	授業内容	担当
1	9月27日	助産の概念	助産の意義, 定義	橋本
2	10月4日	助産師の専門職性と業務	助産師に必要な能力 助産師業務の法的根拠	〃
3	10月11日	助産学を構成する理論	対象を理解するための理論	〃
4	10月25日	母子保健の動向と制度	母子保健施策	〃
5	11月1日	母子保健行政と助産師	地域母子保健活動の実際、産後ケア	〃
6	11月8日	ウィメンズヘルス1	思春期, 成熟期における健康問題	〃
7	11月15日	ウィメンズヘルス2	更年期・老年期における健康問題	〃
8	11月22日	ウィメンズヘルス3	避妊法 不妊症・生殖医療	〃
9	11月29日	助産師と倫理	生命倫理, 職業倫理 出生前診断と遺伝カウンセリング	〃
10	12月6日	国際助産学概論	災害と助産, モデルカリキュラム 文化的視点から見る助産ケア	〃
11	12月13日	パフォーマンスを高める ために必要なスキル	Team STEPPS, 目標管理	〃
12	12月20日	母子保健・出産の変遷	出産を取り巻く背景の変化	〃
13	1月10日	助産師教育制度の変遷と 課題	助産師の卒後教育	〃
14	1月22日 (水)	研究と助産師	助産学研究	〃
15		試験		〃
備 考				

授業科目名	養 護 概 論	担当教員	講師 土江 梨奈			
開講年次及び学期	2 年 後期	必修・選択の別	選択			
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2	

授業概要

今日、学校教育および学校保健活動において養護教諭の果たす役割は大きく、その専門性を活かした対応が期待されている。この授業では、養護の理念及び養護教諭の職務、養護活動の具体的展開方法について学び、養護教諭としての基礎的知識・技術を習得するとともに、養護教諭の役割と養護教諭の専門性について考察する。

G I O（一般目標）

1. 養護の理念、養護教諭の活動内容や過程、その原理を理解する。
2. 児童・生徒、教職員を対象とした保健管理、保健教育、保健室経営、保健組織活動の概要を理解する。
3. 養護教諭の専門性について考えを深める。

S B O（行動目標）

1. 養護の理念を説明できる。
2. 養護教諭の歴史、専門的機能を説明できる。
3. 教育職としての養護教諭の役割を説明できる。
4. 養護活動の種類を説明できる。
5. 養護活動の種類別にその概要を説明できる。
6. 養護教諭としての自らの教育観を深める。

成績評価の方法

出席状況と参加度、課題、小テスト、筆記試験により総合的に評価する。

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

教科書：「新版・養護教諭執務のてびき 第9版」、石川県養護教諭研究会編、東山書房

参考書：「新養護概説」（第8版）、采女智津江編集、少年新聞社

「学校保健実務必携」（第3次改訂版）、学校保健・安全実務研究会編著、第一法規

「学校保健の課題とその対応－養護教諭の職務等に関する調査結果から－」、日本学校保健会

「保健室経営計画の手引き」、日本学校保健会

「児童生徒の健康診断マニュアル」（改訂版）、日本学校保健会

「子どもの心のケアのために－災害や事件・事故発生時を中心に－」文部科学省

「平成23年度調査結果 保健室利用状況に関する調査報告書」、日本学校保健会

「学校のアレルギー疾患に対する取り組み方ガイドライン」、日本学校保健会

「学校において予防すべき感染症の解説」、日本学校保健会

・その他、随時授業の中で紹介する。

授業計画

回	月日	曜日	テーマ	授業内容	担当者
1	9月30日	月	養護教諭の理念及び職務の発展	養護教諭の職務と専門性 養護教諭の歴史	土江
2	10月7日	月	養護教諭制度 児童生徒の健康実態	養護教諭の免許と養成制度 児童生徒の健康実態	土江
3	10月15日	火	養護活動（1）	保健室経営 学校保健計画・学校安全計画	土江
4	10月28日	月	養護活動（2）	健康観察・感染症予防	土江
5	11月11日	月	養護活動（3）	健康診断	土江
6	11月18日	月	養護活動（4）	保健学習・保健指導	土江
7	11月25日	月	養護活動（5）	健康診断（2）課題発表	土江
8	12月2日	月	養護活動（6）	健康相談	土江
9	12月9日	月	養護活動（7）	学校安全・危機管理 学校救急処置	土江
10	12月16日 4.5コマ	月	養護活動（8）	保健指導課題（発表）	土江
11					
12	12月23日	月	養護活動（9）	特別支援教育における養護教諭・疾病管理	土江
13	1月20日	月	養護活動（11）	学校環境管理	土江
14	1月27日	月	養護活動（12）	組織活動 関係職員・関係機関 養護活動の評価 ＜これからの養護教諭に求められる力量 まとめ＞	土江

備 考

適宜，確認小テストを行います。
スケジュールは変更することがあります。

教職に関する科目

(出雲キャンパス開講科目)

授業科目名	教育の方法と技術		担当教員	教育学部教授 権藤 誠剛		
開講年次及び学期	2 年 後期		必修・選択の別	選択		
開講形態	講義		時間数	30	単位数	2
授業概要						
教育の方法及び技術が子どもたちに求められる資質・能力の育成にどのような意味を持ち、また持たせることができるのか。歴史的にも概観し、教育における方法と技術の必要性と独自性について論じていく。また授業の基本的なコミュニケーション構造と過程を確認し、情報機器・教材を活用した模擬授業とそれに基づく討論を行う。さらにメディアリテラシーについても考察していく。						
G I O（一般目標）						
教育における方法及び技術の必要性や独自性について教育の目的や子どもの資質・能力の育成に沿って理解を深める。教育の目的や教育の対象に適した視聴覚メディアや情報機器の選択・活用の在り方、メディアリテラシー論の理解を図る。						
S B O（行動目標）						
養護教諭の役割の観点から、教育の方法及び技術の基礎的な理論と実践を理解し、それを踏まえて積極的に視聴覚教育メディアや情報機器を活用してより効果的な保健活動等に生かすことのできる基礎的な知識や技能を身に付ける。						
成績評価の方法						
授業への主体的な参加・発言内容（なお、理解の進み具合を確かめるためノート提出を求めることもある。）を20％、期末試験を80％とする。期末試験は授業内容の理解とそれに基づく計画案の作成、論述（根拠性、論理性、説得性）内容で評価する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
特に教科書は使用しない。授業内容に応じて適宜、視聴覚教材を利用したり、資料や文献を提示し、紹介する。						
オフィスアワー						
必要に応じて適宜、メールにて日程調整します。 E-mail：gondo@edu.shimane-u.ac.jp						

授業計画

回	日程	テーマ	授業内容	備考
1	9月26日	教育における方法・技術とは	教育の目的・内容と方法・技術, 子どもの資質・能力方法・技術, 視聴と意識と認識	
2	10月3日	コミュニケーションの基本構造と方法・技術	コードとコンテキスト, 方法・技術におけるメディアの役割, 方法・技術の独自性	
3	10月10日	授業の基本構造と教材・メディアの位置	教材作成の基本要素, 構造化・ストーリー性, 自作教材の意義	
4	10月24日	子どもと教師と視聴覚メディアの特性—情報機器活用の意義	メディアと機器, メディアの特性, 映像と言語の関係, 映像と音声の関係	
5	10月31日	情報機器活用によるプレゼンテーション(1)—目標・内容と表現	目標・内容と表現の関係, 言語と映像イメージ, 映像イメージの構造化	
6	11月7日	情報機器活用によるプレゼンテーション(2)—メディアと表現	視聴覚メディアの機能, 喚起, 補助・代替, 課題提示, 自己表現	
7	11月14日	情報機器活用によるプレゼンテーション(3)—視聴者と表現	素材と教材, 「見えるもの」から「見えないもの」へ, 視聴から思考へ	
8	11月21日	情報機器を活用したマイクロティーチングと討論	思考と表現の往還, 目標・内容と視聴者と表現の省察	
9	12月5日	教育の方法・技術と教育思潮—言語と感覚, 事物と認識	言語偏重主義へのアンチテーゼ, 感覚・直観・経験から認識・言語へ	
10	12月12日	教育の方法・技術と学び論	方法・技術と学び, 学習活動と学習規律と方法・技術, 指導と評価	
11	12月19日	日本における教育の方法・技術の史的概観(1)—経験・社会と系統・科学への架け橋	デールの円錐とは, 具体から抽象へ, 教育の現代化と方法・技術	
12	1月9日	日本における教育の方法・技術の史的概観(2)—教育機器・教育メディアの活用	視聴覚教育からメディア教育へ, 視聴能力の形成, 子どものメディア活用	
13	1月16日	保健の授業におけるメディアの活用と課題	保健の内容と視聴覚教材, デジタル教科書, 心身の健康とメディア,	
14	1月23日	リテラシーの育成から見た教育の方法・技術	リテラシーとは, リテラシー教育の必要性和方法・技術	

備 考

養護教諭一種免許状取得のための教職に関する科目の単位の修得方法

教職に関する科目	授業科目名	必修 単位	開講時期	開講場所	担当教員	備 考
教職の意義等に関する科目	教職概論C	2	1年前期			
教育の基礎理論に関する科目	教育原論Ⅱ	2	1年後期			
	人格発達心理学概説	2	1年後期			
	教育社会学概説	2	1年後期			
教育課程に関する科目	教育課程論	2	2年前期	未定	嘱託講師 森 久佳	集中講義
	道徳及び特別活動論	2	2年後期	松江キャンパス	嘱託講師 西田忠男	集中講義
	教育の方法と技術	2	2年後期	出雲キャンパス (遠隔講義)	教育学部教授 権藤誠剛	木9・10
生徒指導及び 教育相談に関する科目	生徒指導論	2	2年前期	松江キャンパス	嘱託講師 新見直子	集中講義
	教育相談の理論と方法	2	1年後期			
養護実習	養護基礎実習事前・事後指導	1	3年前期	出雲キャンパス	講師 土江梨奈 他	
	養護基礎実習	2	3年前期	教育学部附属学校園		
	養護展開実習事前・事後指導	1	4年前期	出雲キャンパス		
	養護展開実習	2	4年前期	出雲市内小・中学校		
教職実践演習	教職実践演習 (養護教諭)	2	4年通年	出雲キャンパス 他		
	合計単位数	26				

履修登録については、別途通知する。

2019年度オフィスアワー一覧

講 座	教 員 名	場 所	時 間 帯
基礎看護学	内田 宏美 教授	5 階	会議等で不在の場合が多いので、メールをください。 E-mail: uchi@med.shimane-u.ac.jp
	津本 優子 教授	5 階	調整しますのでメールください。 E-mail: tsumotoy@med.shimane-u.ac.jp
	福間 美紀 准教授	5 階	メールで日程調整します。 E-mail: mk8592@med.shimane-u.ac.jp
	宮本 まゆみ 講師	5 階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: mmiyamot@med.shimane-u.ac.jp
臨床看護学	橋本 龍樹 教授	2 階	日程を調整しますので、メールで連絡ください。 E-mail: ryuju@med.shimane-u.ac.jp
	福田 誠司 教授	3 階	日程を調整しますので、メールで連絡ください。 E-mail: sfukuda@med.shimane-u.ac.jp
	若崎 淳子 教授		適宜
	秋鹿 都子 准教授	3階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: aika@med.shimane-u.ac.jp
	橋本 美幸 准教授		適宜
	瀧尻 明子 講師	4 階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: takijiri@med.shimane-u.ac.jp
	松浦 志保 講師	3 階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: shihom@med.shimane-u.ac.jp
地域・老年看護学	原 祥子 教授	5 階	水曜日 12:00~13:00 適宜, メール (hara@med.shimane-u.ac.jp) でのコンタクトOK
	小笹 美子 教授	6 階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: yozasa@med.shimane-u.ac.jp
	加藤 真紀 准教授	5 階	不明なことがあればご確認ください。 午前中は、研究室をあげていることが多いかもしれません。何かあれば、メールか加藤の携帯に連絡ください。
	榊原 文 講師	6 階	適宜 E-mail: aya@med.shimane-u.ac.jp
	竹田 裕子 講師	6 階	適宜 E-mail: y.takeda@med.shimane-u.ac.jp
	土江 梨奈 講師	6 階	適宜 E-mail: thuchie @med.shimane-u.ac.jp